

# TASCAM

TEAC Professional Division

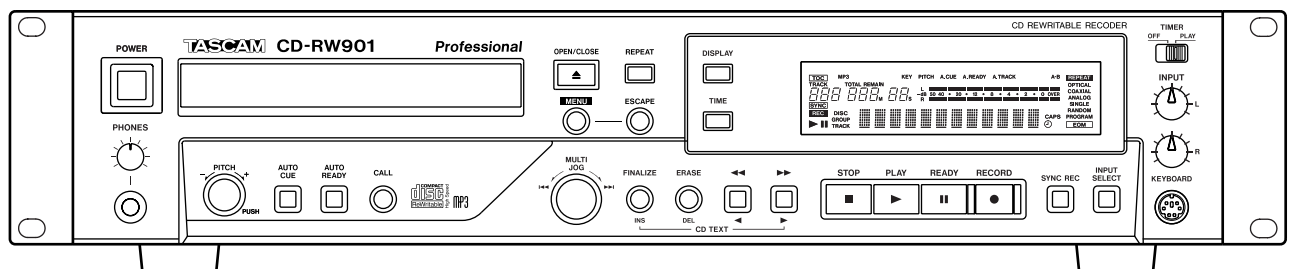
D00910901A

# CD-RW901

CD Rewritable Recorder

**Professional**



取扱説明書






# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。












## 表示の意味

|   |  |
|---|--|
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵表示の例

|   |   |
|---|---|
|  | △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。  |
|  | ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。<br>図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。                |
|  | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。<br>図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。 |

## 警告

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
|    | 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。 |    | この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。           |
|  | 万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。                          |  | この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。             |
|  | 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。  |  | 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。           |
|  | この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。                              |  | 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 |
|  | この機器の通風孔をふさがないようにください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。  |  | この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。         |
|   |   |  | この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。   |

## 警告



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を設置する場合は、壁から 20 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2 cm 以上、背面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

## 注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

# 第1章 はじめに

このたびは、CD-RW901をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、本製品の性能を十分に発揮させ、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

|     |   |    |
|-----|---|----|
| 第1章 | はじめに  | 4  |
|     | ご注意   | 4  |
|     | 製品構成  | 4  |
|     | 取扱説明書の表記  | 5  |
|     | 設置上のご注意   | 5  |
|     | 使用上のご注意   | 5  |
|     | 結露について  | 6  |
|     | CD-RとCD-RWについて                                  | 6  |
|     | ファイナライズとは                                       | 6  |
|     | アフターサービス  | 6  |
| 第2章 | 各部の名称と働き  | 7  |
|     | フロントパネル   | 7  |
|     | リアパネル   | 8  |
|     | ディスプレイ  | 10 |
|     | RC-RW901 (リモコン)                                 | 11 |
|     | オーディオ信号の接続                                      | 12 |
| 第3章 | メニューモードの操作                                      | 13 |
|     | メニューの構成   | 13 |
|     | メニュー操作の基本                                       | 13 |
| 第4章 | 再生  | 15 |
|     | 再生可能なディスクについて                                   | 15 |
|     | 再生の基本操作   | 15 |
|     | 選曲  | 15 |
|     | トラックのサーチ  | 16 |
|     | インデックスのサーチ                                      | 18 |
|     | 再生モード   | 18 |
|     | 時間表示の切り替え                                       | 20 |
|     | 外部同期再生  | 20 |
|     | タイマープレイ   | 20 |
|     | リピート再生  | 21 |
|     | ピッチコントロール再生                                     | 22 |
|     | キーコントロール再生                                      | 22 |
|     | MP3ファイルの再生                                      | 23 |
|     | オートキュー機能  | 25 |
|     | オートレディ機能  | 25 |
|     | インクリメンタルプレイ                                     | 26 |
|     | コール機能   | 26 |
|     | EOM機能   | 26 |
|     | ISRC (International Standard Recording Code) 表示 | 27 |
|     | RID (Recorder Identification Data) 表示           | 27 |
| 第5章 | 録音  | 28 |

|                  |    |
|------------------|----|
| 録音する前に           | 28 |
| 録音の基本操作          | 29 |
| 時間表示の切り替え        | 30 |
| フェードイン/アウト       | 30 |
| シンク録音            | 31 |
| オートトラック録音        | 32 |
| トラック番号のマニュアル更新   | 33 |
| インデックス番号のマニュアル更新 | 33 |
| レックミュート          | 33 |
| 録音トラック数の指定       | 33 |
| コピーIDの設定         | 33 |

|      |                      |    |
|------|----------------------|----|
| 第6章  | CD-R/CD-RW ディスクの各種操作 | 34 |
|      | ファイナライズ              | 34 |
|      | アンファイナライズ            | 34 |
|      | リフレッシュ               | 35 |
|      | ディスクの消去              | 35 |
|      | トラックの消去              | 36 |
| 第7章  | 名前を付ける               | 37 |
|      | ディスクに名前を付ける          | 37 |
|      | トラックに名前を付ける          | 37 |
| 第8章  | コンピュータキーボードを使った操作    | 38 |
|      | キーボードタイプの設定          | 38 |
|      | キーボードを使って名前を入力する     | 38 |
|      | キーボード操作一覧            | 38 |
| 第9章  | 通信設定                 | 39 |
| 第10章 | メッセージ一覧              | 40 |
|      | エラーメッセージ             | 40 |
|      | 動作時のメッセージ            | 40 |
| 第11章 | トラブルシューティング          | 41 |
| 第12章 | 仕様                   | 42 |

## ご注意

音楽、映像、コンピュータプログラム、データベース等の著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等をされる前に、著作物ごとの条件を充分ご確認の上、本製品を適正にご使用くださいますようお願いいたします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負いたしません。

## 製品構成

本製品の構成は以下の通りです。

- ・ CD-RW901 リライタブルレコーダー × 1
- ・ RC-RW901 リモコン × 1
- ・ 電源コード × 1
- ・ ラックマウントビスケット × 1

## 取扱説明書の表記

この取扱説明書では、以下のような表記方法を使用します。

### ● XXX

選択可能な値を表します。

例：SRC> XXX (ON/OFF を選択可能)

### ● [ ]

ディスプレイのインジケータを表します。

例：[RANDOM]

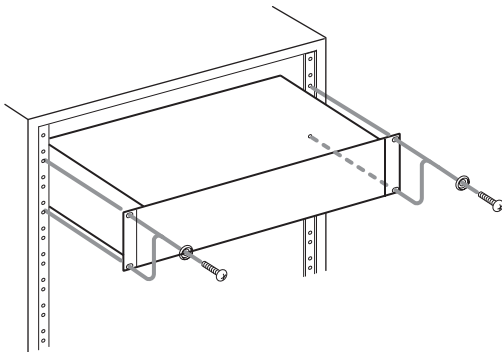
### ● “ ”

ディスプレイに表示される文字を表します。

例：“Open”

## 設置上のご注意

- ・ 本製品の動作保証温度は摂氏 5 度～ 35 度です。
- ・ 本製品は水平に設置してください。
- ・ 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- ・ パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- ・ 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。  
なお、ラック内部では、本製品の上に 1U 以上のスペースを開けてください。



## 使用上のご注意

- ・ 以下のマークがあるコンパクトディスクをお使いください。

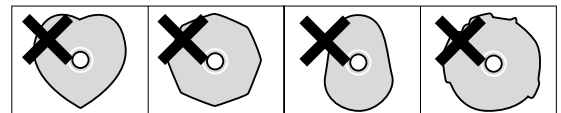
CD-R



CD-RW



- ・ ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ・ ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押ししながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- ・ 信号録音面（レーベルがない面）には触れないでください。指紋や脂などが付着していると、録音するときにエラーの原因になることがあります。
- ・ 信号録音面に指紋やほりこりがついたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって直角に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ・ ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対にお止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ・ ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタル CD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは、使用しないでください。そのまま本製品に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ・ 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因になります。
- ・ ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ・ ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- ・ いくつかのレコード会社より「コピーコントロール CD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらは CD 規則に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。
- ・ CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、ディスクメーカーに直接お問い合わせください。

### 結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約 1～2 時間放置した後、電源を入れてお使いください。

### CD-R と CD-RW について

**CD-R ディスク**には、一度だけしか録音できません。録音したトラック(曲)を消去することもできません。ただし、ファイナライズ処理を施していないディスクで、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音が行えます。録音が終わった CD-R は、ファイナライズ処理を施すことで、一般の CD プレーヤーでも再生できるようになります(一部の CD プレーヤーでは再生できないことがあります)。

**CD-RW ディスク**は、録音可能時間を使いきった場合でも、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし、消去できるのは指定した曲から最後に録音した曲までに限られます。途中の曲だけを消去することはできません。CD-RW は、ファイナライズ処理を施しても、CD-RW に対応した CD プレーヤーでしか再生できません

### ファイナライズとは

CD-R や CD-RW ディスクは、音声データを録音した後でも、最終的な TOC(\*)の情報をディスクに記録しなければ、一般の CD プレーヤーで再生することはできません。この TOC を記録することをファイナライズといいます。

ファイナライズしたディスクには、それ以上録音することができません。ただし CD-RW の場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます(→ P34)。

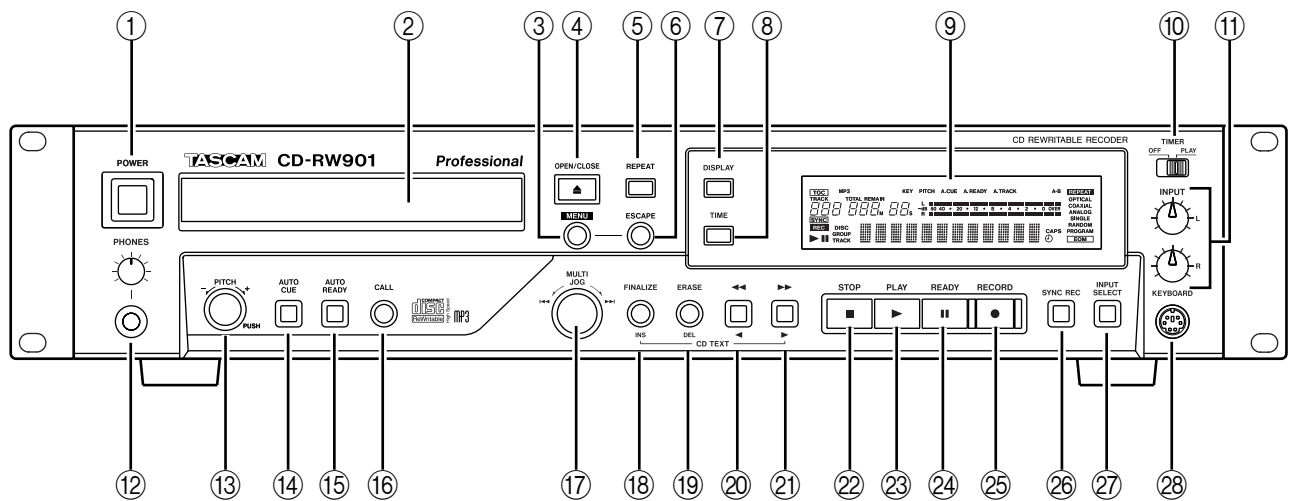
\* TOC: Table of Contents = 録音されている曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータの情報

### アフターサービス

- ・ この製品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店より所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒大切に保管してください。
- ・ 保証期間はご購入日より 1 年です。保証期間中は記載内容により当社サービス機関が修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- ・ 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、ご購入の販売店または当社営業所などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- ・ 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  - ・ 型名、型番 (CD-RW901)
  - ・ 製造番号 (Serial No.)
  - ・ 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - ・ お買い上げ年月日
  - ・ お買い上げ販売店名
- ・ この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。

## 第2章 各部の名称と働き

### フロントパネル



- ① **POWER スイッチ**  
電源をオン/オフします。
- ② **ディスクトレイ**  
ディスク (CD、CD-R、CD-RW) を挿入します。
- ③ **MENU キー**  
各種メニューを操作するメニューモード (→ P13) に切り替えます。
- ④ **OPEN/CLOSE (▲) キー**  
ディスクトレイを開閉します。ディスプレイには、トレイを開けると "Open"、トレイを閉めると "Close" と表示されます。
- ⑤ **REPEAT キー**  
リピート再生のオン/オフを切り替えます。
- ⑥ **ESCAPE キー**  
メニューモード時、メニュー項目をキャンセルします。
- ⑦ **DISPLAY キー**  
停止中にこのキーを押すと、現在のディスクタイトルがディスプレイに表示され、再生中 (または一時停止中) に押すと、現在のトラックタイトルが表示されます。
- ⑧ **TIME キー**  
ディスプレイに表示される時間モードを切り替えます。
- ⑨ **ディスプレイ**  
メニューや現在の動作状態を表示します。
- ⑩ **TIMER スイッチ**  
タイマープレイ (→ P20) のオン/オフを切り替えます。
- ⑪ **INPUT (L,R) つまみ**  
アナログ入力信号を録音するときの入力レベルを調節します。(L,R チャンネル独立)
- ⑫ **PHONES 端子 / PHONES つまみ**  
ステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホンの音量は、上側のつまみで調節します。
- ⑬ **PITCH つまみ**  
このつまみを回すと、ピッチコントロール値 (± 16.0%) が設定され、つまみを押して、ピッチコントロール再生のオン/オフを切り替えます。
- ⑭ **AUTO CUE キー**  
オートキューモードのオン/オフを切り替えます。
- ⑮ **AUTO READY キー**  
オートレディモードのオン/オフを切り替えます。
- ⑯ **CALL キー**  
最後に一時停止状態から再生を開始したポイントにロケートして一時停止状態になります。録音時、マニュアルでインデックス番号を付けるときにも使用します。
- ⑰ **MULTI JOG ダイアル**  
トラックの選択や設定値の変更に使用します。また、このダイヤルを押し込むと、ENTER キーとして動作し、選択したメニューや変更した設定値が確定します。
- ⑱ **FINALIZE/INS キー**  
ディスクのファイナライズ操作を行います (→ P34)。また、テキスト入力時には、カーソル位置にスペースを挿入します。再生中 (または一時停止中) に押すと、ISRC コードを表示します。
- ⑲ **ERASE/DEL キー**  
CD-RW ディスク使用時には、トラックやディスクの消去などを行います。また、テキスト入力時には、カーソル位置にある文字を削除します。再生中 (または一時停止中) に押すと、RID コードを表示します。

## 第2章 各部の名称と働き

### ⑳ ◀◀/◀ キー

再生中（または一時停止中）に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行います。

インデックス機能がオンの場合、再生中（または一時停止中）に押し続けると、インデックススキップを行います。

ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押し続けると、ディレクトリを選択できます。

また、テキスト入力時には、カーソル位置を左に移動させます。

### ㉑ ▶▶/▶ キー

再生中（または一時停止中）に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行います。

インデックス機能がオンの場合、再生中（または一時停止中）に押し続けると、インデックススキップを行います。

ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押し続けると、ディレクトリを選択できます。

また、テキスト入力時には、カーソル位置を右に移動させます。

### ㉒ STOP (■) キー

録音や再生を停止します。

### ㉓ PLAY (▶) キー

録音や再生を開始します。

### ㉔ READY (||) キー

録音や再生を一時停止します。

### ㉕ RECORD (●) キー

録音待機状態にします。また、マニュアルでトラック番号を付けるときにも使用します（→ P33）。

### ㉖ SYNC REC

シンク録音（→ P31）のオン/オフを切り替えます。

外部同期再生オンの場合、停止、再生、一時停止中に押し続けると、48k Fs アジャスト機能のオン/オフが切り替わりします。（「外部同期再生」→ P20）

### ㉗ INPUT SELECT キー

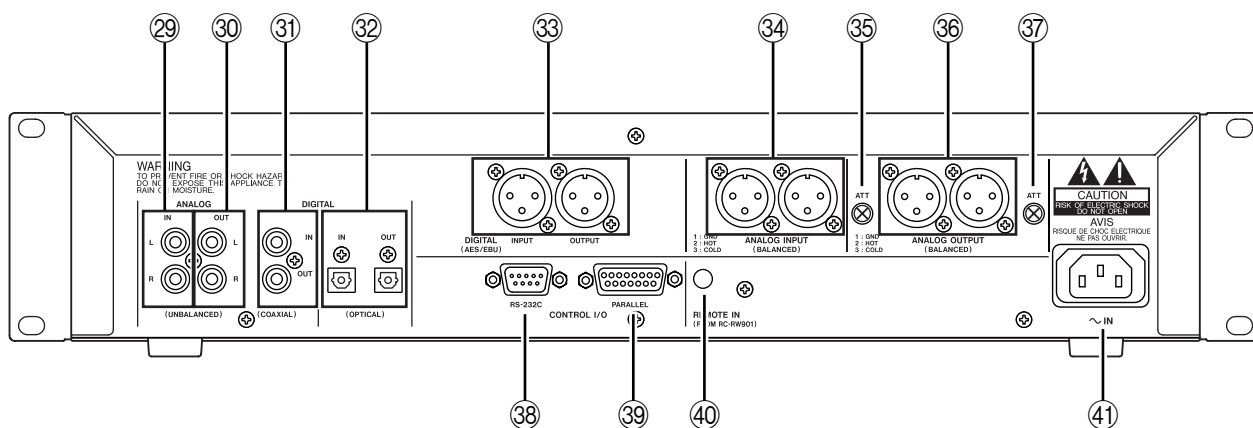
録音ソースとなる入力端子を選択します。

### ㉘ KEYBOARD 端子

IBM PC 互換機用、PS/2 インターフェースのキーボードを接続します。

初期設定は US キーボード用に設定されています。US キーボードは日本語用のキーボードと配列が異なるため、日本語

## リアパネル



### ㉙ ANALOG IN (UNBALANCED) 端子 L/R

アナログ入力端子（RCA ピンジャック）です。規定入力レベルは -10dBV です。

### ㉚ ANALOG OUT (UNBALANCED) 端子 L/R

アナログ出力端子（RCA ピンジャック）です。規定出力レベルは -10dBV です。

### ㉛ DIGITAL IN/OUT (COAXIAL) 端子

IEC-60958（コンシューマユース）に準拠したデジタル入力/出力端子です。

### ㉜ DIGITAL IN/OUT (OPTICAL) 端子

IEC-60958（コンシューマユース）に準拠したデジタル入力/出力端子です。

### ㉝ DIGITAL INPUT/OUTPUT (AES/EBU) 端子

IEC-60958（プロユース）に準拠したデジタル入力/出力端子です。

### ㉞ ANALOG INPUT (BALANCED) 端子 L/R

アナログ入力端子（XLR バランス）です。規定入力レベルは +4dBu です。

### ㉟ ATT コントロール R

ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子 R から出力する信号レベルを -10dB まで減衰できます。



③⑥ ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子 L/R

アナログ出力端子 (XLR バランス) です。  
規定出力レベルは +4dBu です。

**メモ**

バランス端子のピン接続は、

- 1 番ピン=グラウンド
- 2 番ピン=ホット
- 3 番ピン=コールド

です。

③⑦ ATT コントロール L

ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子 L から出力する  
信号レベルを -10dB まで減衰できます。

③⑧ CONTROL I/O (RS-232C) 端子

D-SUB 9ピンの RS-232C コントロール用 I/O 端子です。  
外部 PC などを接続します。

③⑨ CONTROL I/O (PARALLEL) 端子

D-SUB15 ピンのパラレルコントロール用 I/O 端子です。  
外部のコントローラーと接続します。

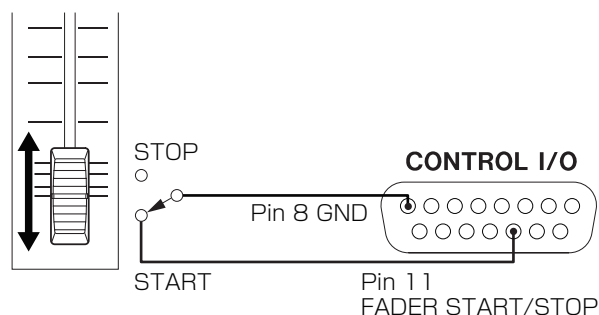
| ピン番号 | 内容                  | IN/OUT |
|------|---------------------|--------|
| 1    | STOP Tally          | Out    |
| 2    | REC Tally           | Out    |
| 3    | SKIP (Forward)      | In     |
| 4    | SKIP (Back)         | In     |
| 5    | EOM Tally           | Out    |
| 6    | REC                 | In     |
| 7    | CALL                | In     |
| 8    | GND                 | -      |
| 9    | PLAY Tally          | Out    |
| 10   | READY Tally         | Out    |
| 11   | FADER<br>START/STOP | -      |
| 12   | STOP                | In     |
| 13   | PLAY                | In     |
| 14   | READY               | In     |
| 15   | +5V*                | -      |

In : 外部コマンド受信アクティブロー  
(グラウンド 30ms 以上で動作)

Out: オープンコレクターによるトランスポートステータス  
表示用信号 (最大電圧 15V、最大電流 50mA)

\*最大供給電流 50mA

フェーダースタート/ストップ



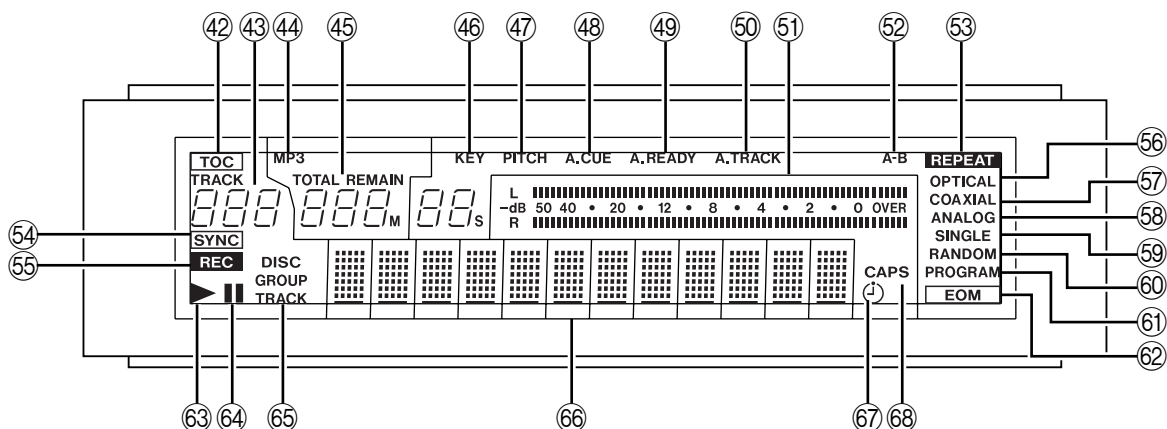
④⑩ REMOTE IN 端子

専用リモコン RC-RW901 と接続します。

④⑪ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

### ディスプレイ



ディスプレイには、デッキの動作モード、メニュー、CDのディスク情報などの様々な情報が表示されます。

#### ④2 TOC

TOC 情報が書き込まれたディスクがセットされている時に赤く点灯します。

#### ④3 トラック番号表示

再生中／選択中のトラック番号を表示します。  
インクリメンタルプレイ機能がオンの場合、再生中（または一時停止中）に TRACK マークが点滅します。

#### ④4 MP3

MP3 ディスクがセットされている時に点灯します。

#### ④5 カウンター表示

時間表示モードに応じて、TOTAL、REMAIN が点灯／消灯します。カウンター表示は分（3桁）秒（2桁）です。

#### ④6 KEY

キーコントロール機能がオンの時に点灯します。

#### ④7 PITCH

ピッチコントロール機能がオンの時に点灯します。

#### ④8 A.CUE

オートキュー機能がオンの時に点灯します。

#### ④9 A.READY

オートレディ機能がオンの時に点灯します。

#### ⑤0 A.TRACK

オートトラック機能がオンの時に点灯します。

#### ⑤1 メーター

再生レベル、および接続機器の入力レベルを表示します。

#### ⑤2 A-B

A-B リpeat機能がオンの時に点灯します。また B ポイントが設定されるまで点滅します。

#### ⑤3 REPEAT

リピート機能がオンの時に点灯します。

#### ⑤4 SYNC

SYNC 録音機能がオンの時に点灯します。

#### ⑤5 REC

録音、または録音待機中で SRC 機能がオンの時に点灯します。また録音、または録音待機中で SRC 機能がオフの時に点滅します。

#### ⑤6 OPTICAL

入力ソースが OPTICAL に設定されている時に点灯します。

#### ⑤7 COAXIAL

入力ソースが COAXIAL に設定されている時に点灯します。

#### ⑤8 ANALOG

入力ソースが UNBALANCE に設定されている時に点灯します。また、入力ソースが BALANCE に設定されている時に点滅します。

#### ⑤9 SINGLE

シングル再生モードに設定されている時に点灯します。

#### ⑥0 RANDOM

ランダム再生モードに設定されている時に点灯します。

#### ⑥1 PROGRAM

プログラム再生モードに設定されている時に点灯します。

#### ⑥2 EOM

トラック／ディスクの残り時間が EOM 設定値以下になった時に点滅します。

#### ⑥3 PLAY (▶) マーク

再生中に点灯します。  
オートキューポイントサーチ中は点滅します。

#### ⑥4 READY (||) マーク

一時停止中、または録音待機中に点灯します。

#### ⑥5 DISC、GROUP、TRACK

ディスクがセットされていて、停止中の時に DISC が点灯します。  
ディレクトリ再生モードがオンの時に GROUP が点灯します。  
再生、一時停止、録音、録音待機中の時に TRACK が点灯します。

⑥⑥ キャラクター表示部

ディスク情報、トラック情報、メニュー、メッセージ、時間、動作ステータスなどを表示します。

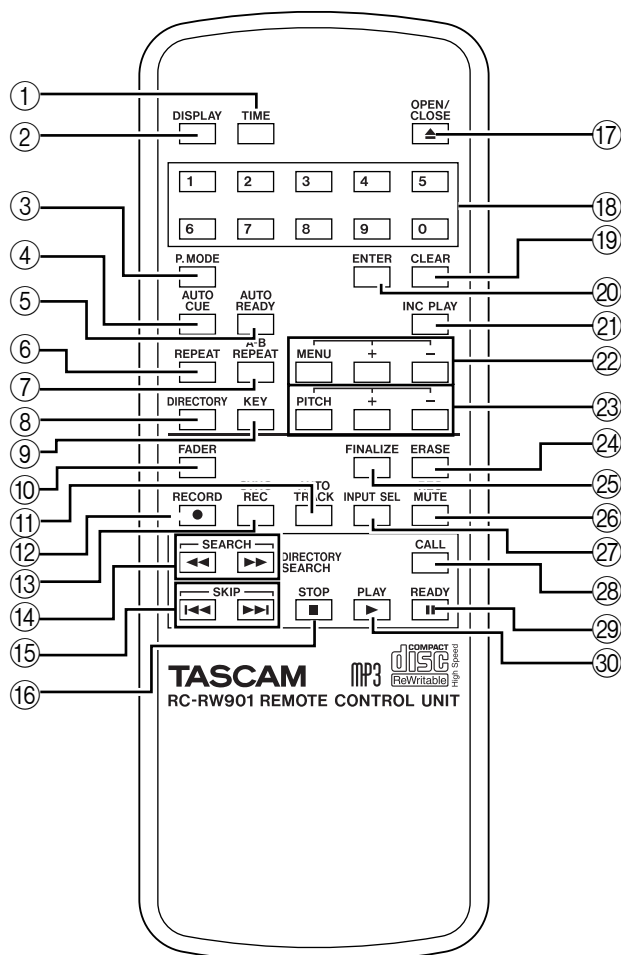
⑥⑧ CAPS

タイトル入力時に CAPS モードがオンの時に点灯します。小文字の時は何も点灯しません。

⑥⑦ TIMER (⌚) マーク

タイマープレイ機能がオンの時に点灯します。

RC-RW901 (リモコン)



① TIME キー

フロントパネルの TIME キー (⑧) と同じ動作です。

② DISPLAY キー

フロントパネルの DISPLAY キー (⑦) と同じ動作です。

③ P.MODE キー

再生モード (→ P18) の切り替えを行います。

④ AUTO CUE キー

フロントパネルの AUTO CUE キー (⑭) と同じ動作です。

⑤ AUTO READY キー

フロントパネルの AUTO READY キー (⑮) と同じ動作です。

⑥ REPEAT キー

フロントパネルの REPEAT キー (⑤) と同じ動作です。

⑦ A-B REPEAT キー

A-B リピート再生 (→ P21) の操作に使用します。

⑧ DIRECTORY キー

MP3 ファイルのディレクトリ再生 (→ P23) のオン/オフを切り替えます。

⑨ KEY キー

キーコントロールのオン/オフを切り替えます。

⑩ FADER キー

録音中に、フェードイン/フェードアウトを行います (→ P30)。

⑪ AUTO TRACK キー

オートトラックモードの切り替えを行います。

⑫ RECORD (●) キー

フロントパネルの RECORD (●) キー (⑮) と同じ動作です。

## 第2章 各部の名称と働き

- ⑬ SYNC REC キー  
フロントパネルの SYNC REC キー (26) と同じ動作です。
- ⑭ SEARCH (◀▶) キー  
フロントパネルの▶▶/▶▶、◀◀/◀◀ キー (20)、(21) と同じ動作です。
- ⑮ SKIP (◀◀/▶▶) キー  
フロントパネルの MULTI JOG ダイアル (17) を回したときと同じ動作です。
- ⑯ STOP (■) キー  
フロントパネルの STOP (■) キー (22) と同じ動作です。
- ⑰ OPEN/CLOSE (▲) キー  
フロントパネルの OPEN/CLOSE (▲) キー (4) と同じ動作です。
- ⑱ 0～9 キー  
トラック番号を入力したり、プログラム再生を設定したりするのに利用します。
- ⑲ CLEAR キー  
0～9 キーで入力した数字を取り消します。  
プログラム時、最後に登録したプログラムを削除します。メニューモード時、本体 ESCAPE キーと同じ動作です。
- ⑳ ENTER キー  
フロントパネルの MULTI JOG ダイアル (17) を押し込んだときと同じ動作です。
- ㉑ INC PLAY キー  
インクリメンタルプレイのオン/オフを切り替えます。
- ㉒ MENU (+/-) キー  
メニューモードのオン/オフの切り換え、およびメニュー項目の選択を行います。
- ㉓ PITCH (+/-) キー  
フロントパネルの PITCH つまみ (13) を押したとき、または回したときと同じ動作です。
- ㉔ ERASE キー  
フロントパネルの ERASE/DEL キー (19) と同じ動作です。
- ㉕ FINALIZE キー  
フロントパネルの FINALIZE/INS キー (18) と同じ動作です。
- ㉖ REC MUTE キー  
約 4 秒間の無音録音を行います。無音録音終了後は、録音一時停止状態になります (→ P33)。
- ㉗ INPUT SEL キー  
フロントパネルの INPUT SELECT キー (27) と同じ動作です。
- ㉘ CALL キー  
フロントパネルの CALL キー (16) と同じ動作です。
- ㉙ READY (||) キー  
フロントパネルの READY (||) キー (24) と同じ動作です。
- ㉚ PLAY (▶) キー  
フロントパネルの PLAY (▶) キー (23) と同じ動作です。

## オーディオ信号の接続

### 入力

INPUT SELECT キー (またはリモコンの INPUT SEL キー) で選んだ入力端子のみが有効です。次の 5 系統の入力端子の中から 1 つを選択して、接続を行います。

- ・ ANALOG IN (UNBALANCED) 端子 L/R (29)
- ・ ANALOG INPUT (BALANCED) 端子 L/R (34)
- ・ DIGITAL IN (COAXIAL) 端子 (31)
- ・ DIGITAL IN (OPTICAL) 端子 (32)
- ・ DIGITAL INPUT (AES/EBU) 端子 (33)

現在選ばれている入力端子は、ディスプレイで確認できます (→ P28)。

### 出力

次の 5 系統の出力端子すべてから信号が出力されます。任意の端子を選び、接続を行います。

- ・ ANALOG OUT (UNBALANCED) 端子 L/R (30)
- ・ ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子 L/R (36)
- ・ DIGITAL OUT (COAXIAL) 端子 (31)
- ・ DIGITAL OUT (OPTICAL) 端子 (32)
- ・ DIGITAL OUTPUT (AES/EBU) 端子 (33)

## 第3章 メニューモードの操作

ここでは、CD-RW901の各種設定や編集を行うモード（メニューモード）の構成や基本操作について説明します。

### メニューの構成

メニューモードの構成は次のようになっています。各項目の詳細については、参照ページをご覧ください。

| メニュー項目 | サブメニュー項目    | 機能                                     | 参照ページ |
|--------|-------------|--|-------|
| PLAY   | PLAY MODE   | 再生モードの設定                               | → P18 |
|        | PITCH STEP  | ピッチコントロール<br>可変ピッチの設定                  | → P22 |
|        | KEY         | キーコントロールの<br>オン/オフ設定                   | → P22 |
|        | KEY LEVEL   | キーコントロールレ<br>ベルの設定                     | → P22 |
|        | DIRECTORY   | MP3ディスクの<br>ディレクトリ再生の<br>オン/オフ設定       | → P24 |
|        | INC PLAY    | インクリメンタルプレ<br>イのオン/オフ設定                | → P26 |
|        | EOM TRK     | トラックでのEOM<br>(End Of Message)<br>時間の設定 | → P26 |
|        | EOM DISC    | ディスクでのEOM<br>時間の設定                     | → P26 |
|        | EXT SYNC    | 外部同期再生のオン<br>/オフ設定                     | → P20 |
|        | A_CUE LEVEL | オートキューレベル<br>の設定                       | → P25 |
| REC    | VOLUME      | デジタル信号の入力<br>レベルの設定                    | → P29 |
|        | FADE IN     | 録音時のフェードイ<br>ン動作時間の設定                  | → P30 |
|        | FADE OUT    | 録音時のフェードア<br>ウト動作時間の設定                 | → P30 |
|        | SRC         | サンプリングレート<br>コンバーターのオン<br>/オフ設定        | → P28 |
|        | SYNC LEVEL  | シンク録音動作レ<br>ベルの設定                      | → P31 |
|        | A_TRK       | オートトラックモ<br>ードの設定                      | → P32 |
|        | A_TRK LEVEL | オートトラック動作<br>レベルの設定                    | → P32 |
|        | A_TRK TIME  | オートトラック動作<br>時間の設定                     | → P32 |
|        | SYNC TRIM   | シンク録音動作開始<br>ポイントの設定                   | → P31 |
|        | A_TRK TRIM  | オートトラック動作<br>開始ポイントの設定                 | → P32 |
|        | COPY ID     | 録音トラックのコ<br>ピーIDの設定                    | → P33 |
|        | INDEX INC   | インデックスイン<br>クリメントのオン/オ<br>フ設定          | → P32 |

| メニュー項目 | サブメニュー項目  | 機能                  | 参照ページ |
|--------|-----------|---------------------|-------|
| TEXT   | TEXT EDIT | CDのトラック名またはディスク名の設定 | → P37 |
| SYSTEM | KEYBOARD  | キーボードタイプの設定         | → P38 |
|        | PLAY TIME | 本機で再生に使用した総時間を表示    | → P15 |
|        | REC TIME  | 本機で録音に使用した総時間を表示    | → P30 |
|        | BAUD RATE | 通信速度の設定             | → P39 |
|        | LENGTH    | 通信データ長の設定           | → P39 |
|        | PARITY    | 通信パリティビットの設定        | → P39 |
|        | STOP BIT  | 通信ストップビットの設定        | → P39 |
|        | INDEX     | インデックス機能のオン/オフ設定    | → P18 |

### メニュー操作の基本

#### 1 MENUキーを押します。

メニュー選択画面になります。

PLAY? [ ]

#### 2 希望のメニューを選択します。

本体操作の場合：

MULTI JOG ダイヤルを回して希望のメニュー項目を表示し、MULTI JOG ダイヤルを押し込みます。

リモコン操作の場合：

MENU (+/-) キーを使って希望のメニュー項目を表示し、ENTER キーを押します。

メニュー項目は以下の順で表示されます。

→ PLAY? → REC? → TEXT? → SYSTEM? →

サブメニュー項目選択画面になります。

(例：再生モードの場合)

PLAY MODE? [ ]

#### メモ

サブメニュー項目選択画面からメニュー選択画面に戻りたい場合は、本体のESCAPEキー（リモコン操作の場合CLEARキー）を押します。

#### 3 希望のサブメニューを選択します。

本体操作の場合：

MULTI JOG ダイヤルを回して希望のサブメニュー項目を表示し、MULTI JOG ダイヤルを押し込みます。

リモコン操作の場合：

MENU (+/-) キーを使って希望のサブメニュー項目を表示し、ENTER キーを押します。

## 第3章 メニューモードの操作

(例：連続再生の場合)

Mode>Cont

設定画面になります。

### メモ

サブメニュー項目選択画面に戻りたい場合は、本体の ESCAPE キー（リモコン操作の場合 CLEAR キー）を押します。

### 4 設定を行ないます。

**本体操作の場合：**

MULTI JOG ダイアルを回して希望の設定値を表示し、MULTI JOG ダイアルを押し込みます。

**リモコン操作の場合：**

MENU (+/-) キーを使って希望の設定値を表示し、ENTER キーを押します。

### メモ

時間表示など、確認のみで設定のないメニュー項目もあります。

### 5 設定後、メニューモードを抜けます。

### メモ

- ・ 選択、設定途中でも MENU キーを押すとメニューモードを抜けることができます。
- ・ メニューの設定は、電源を切っても記憶されています (TEXT を除く)。

## 第4章 再生

ここでは、ディスクトレイに挿入された CD/CD-R/CD-RW メディアを再生する方法や、CD-ROM などのメディアに MP3 フォーマットで記録されたオーディオファイルの再生方法について説明します。

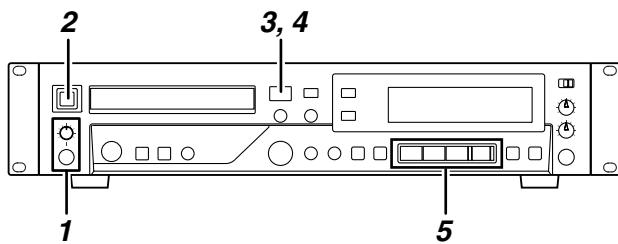
### 再生可能なディスクについて

本機では次のようなディスクの再生に対応しています。

- ・ CD-DA 形式で記録されている市販のオーディオ CD
- ・ CD-DA 形式で記録されている CD-R/CD-RW
- ・ MP3 形式のファイルが記録されている CD-ROM/ CD-R/ CD-RW

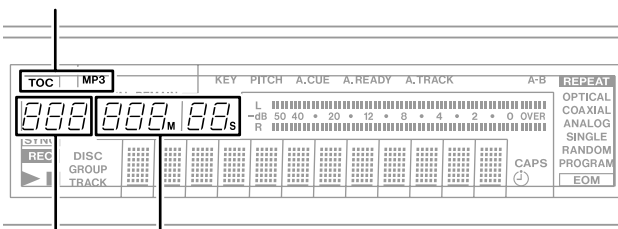
### 再生の基本操作

ここでは、再生／一時停止／停止などの基本操作を行う手順について説明します。



- 1 ヘッドホンでモニターする場合は、PHONES 端子にヘッドホンを接続し、PHONES つまみを絞っておきます。
- 2 POWER スイッチを押して電源を入れます。
- 3 OPEN/CLOSE キーを押して、ディスクトレイを開き、ディスクを載せます。
- 4 OPEN/CLOSE キーを押して、ディスクトレイを閉じます。ディスプレイには "Close" と表示され、ディスクトレイが完全に閉じると、表示が "TOC Reading." に切り替わります。ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレイに総トラック数と総再生時間が表示されます。

ディスクの種類



総トラック数 総再生時間

なお、挿入したディスクの種類は、次のように表示されます。

**TOC** ファイナライズ済のメディアを示します。ファイナライズ処理していない CD-R または CD-RW メディアの場合、消灯となります。

**MP3** MP3 ファイルが記録されたメディア

- 5 再生を始めるには、PLAY (▶) キーを押します。接続されているモニターシステム、または PHONES つまみを操作して、適切なモニターレベルに設定してください。なお、一時停止や停止の操作は、次のように行います。

**再生を一時停止するには**

READY (||) キーを押します。もう一度 PLAY (▶) キーを押すと、再び再生が始まります。

**再生を止めるには**

STOP (■) キーを押します。

### メモ

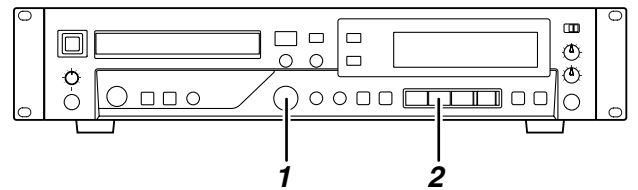
- ・ この取扱説明書では、特に断りが無い限り、再生モード (→ P18) が連続再生に設定されているものとして説明しています。
- ・ SYSTEM メニューの PLAY TIME サブメニューを表示すると本機で再生した総時間を確認できます。

### 選曲

ここでは、複数のトラックを含む CD を再生するとき、選曲を行う方法を説明します。選曲方法には、前後のトラック番号に移動する方法 (スキップ) と、トラック番号を直接指定する方法があります。

### スキップ

前後のトラック番号にスキップする方法を説明します。

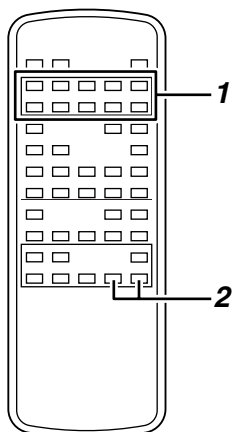


- 1 フロントパネルの MULTI JOG ダイヤルを回して (またはリモコンの SKIP キーを押して) トラックを選びます。ダイヤルまたはキーを使用したときの動作は、次の通りです。
  - ・ **MULTI JOG ダイヤル**  
右に回すと後ろのトラック番号、左に回すと手前のトラック番号に移動します。
  - ・ **SKIP キー**  
▶▶ キーを押すと後ろのトラック番号、◀◀ キーを押すと手前のトラック番号に移動します。
- 2 フロントパネルの PLAY (▶) キー (またはリモコンの PLAY (▶) キー) を押します。選択したトラックの再生が始まります。また、PLAY (▶) キーの代わりにフロントパネルの READY (||) キー (またはリモコンの READY (||) キー) を押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後、一時停止状態になります。

## 第4章 再生

### トラック番号の指定選曲

リモコンの0～9キーを使用して、再生するトラック番号を直接指定する方法を説明します。



**1** リモコンの0～9キーを使って、トラック番号(最高3桁)を入力します。

トラック番号は高い桁の数字から順に入力します。

・ **トラック1を指定する場合**

1キーを1回押す。

・ **トラック12を指定する場合**

1キー→2キーの順に押す。

・ **トラック103を指定する場合**

1キー→0キー→3キーの順に押す。

**2** リモコンのPLAY (▶) キーを押します。

選択したトラックの再生が始まります。また、この手順でPLAY (▶) キーの代わりにリモコンのREADY (||) キーを押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後で、一時停止状態になります。

#### メモ

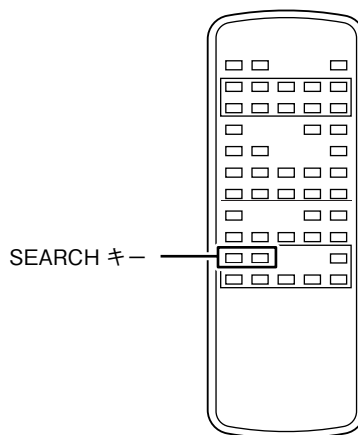
- ・ PLAY (▶) キーを押す代わりに MULTI JOG ダイヤルを押し込んで (またはリモコンの ENTER キーを押して)、トラック番号を確定することもできます。
- ・ プログラム、ランダムモード時はテンキーによるトラック指定は出来ません。

### トラックのサーチ

再生中 (または一時停止中) に、トラックの聴きたい部分をサーチできます。サーチ方法には、音声を聞きながら早送り/巻き戻しを行う通常のサーチと、任意のトラック/時間を直接指定して移動するサーチ (ダイレクトサーチ) があります。

#### 通常のサーチ

フロントパネルの▶▶/▶、◀◀/◀ キー (またはリモコンの SEARCH キー) を使って、音声を聞きながらトラックをサーチする方法を説明します。



**1** 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。

**2** フロントパネルの▶▶/▶、◀◀/◀ キー (またはリモコンの SEARCH キー) の一方を押し続けます。

前方 (▶▶) または後方 (◀◀) へのサーチが始まります。

**3** サーチを止めるには、フロントパネルの▶▶/▶、◀◀/◀ キー (またはリモコンの SEARCH キー) を放します。サーチを行う前の状態 (再生または一時停止) に戻ります。

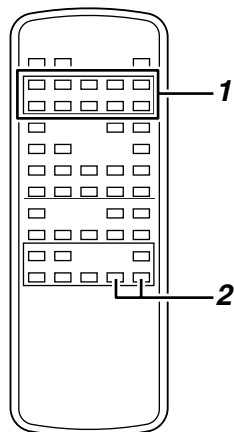
#### メモ

MP3 ファイルは、通常のサーチは行えません。



## ダイレクトサーチ

任意のトラック/時間を直接指定して移動するサーチ（ダイレクトサーチ）について説明します。



1 ダイレクトサーチを行うには、リモコンの0～9キーを使って、次の順に8桁の数字を入力します。

- ・トラック番号（3桁）
- ・トラックの先頭からの経過時間（分）（3桁）
- ・トラックの先頭からの経過時間（秒）（2桁）

例えば、トラック2の1分30秒の位置を指定する場合は、次の順にキーを押します。

0→0→2→0→0→1→3→0



8桁の入力が完了した時点で、即座に該当する位置に移動します。

### メモ

- ・ダイレクトサーチは、トラックが停止、再生、一時停止のどの状態であっても利用できます。
- ・停止状態または再生状態のときにダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生を始めます。また、一時停止中だった場合は、移動した位置でも一時停止になります。

### ご注意

- ・MP3ディスクが挿入されているときは、トラック内の時間指定ができません。トラック番号（先頭から3桁）を入力した時点で、指定したトラックが再生されます。
- ・現在挿入されているディスクに存在しないトラック番号や時間を指定すると、その時点で設定操作が解除されます。
- ・プログラム、ランダムモード時はダイレクトサーチは出来ません。

2 トラック番号のみ、またはトラック番号+分単位で位置を指定したいときは、必要な数値のみを入力したところで、リモコンのENTERキー（またはPLAY（▶）、READY（⏸）キー）を押します。

## トラック番号のみを指定した場合

トラック番号（最大3桁）を指定してからリモコンのENTERキー（またはPLAY、READYキー）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。分と秒の桁は、すべて0になります。

### メモ

この方法でトラックを指定するときは、先頭の0または00を省略できます。例えばトラック2を選ぶときは2、トラック12を選ぶときは1→2の順で押してからENTERキー（またはPLAY（▶）、READY（⏸）キー）を押します。

停止状態または再生状態のときにENTERキーを使ってダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。

PLAY（▶）キーを押してダイレクトサーチを行った場合は、移動した位置から即座に再生が始まります。また、READY（⏸）キーを押した場合は、移動した位置で一時停止状態になります。

### メモ

この動作は、「トラック番号の指定選曲」（→P16）と同じです。

## トラック番号と分単位の位置を指定した場合

トラック番号と分単位の開始位置（合計6桁）を指定してからリモコンのENTERキー（またはPLAY（▶）、READY（⏸）キー）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。この場合、秒の桁は0になります。

各キーを押したときの動作は、トラック番号のみを指定した場合と同じです。

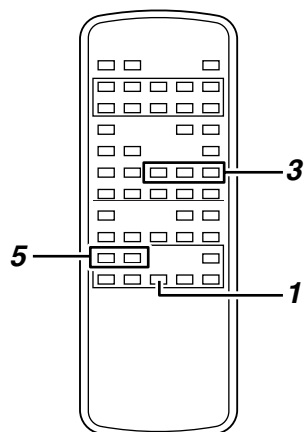
例えば、トラック2の1分00秒の位置を指定する場合は、次の順にキーを押します。

0→0→2→0→0→1→リモコンのENTERキー（またはPLAY（▶）、READY（⏸）キー）

### メモ

この方法で指定するときは、分の先頭の0を省略できます。上記の例では、0→0→2→1の順で押してからENTERキー（またはPLAY（▶）、READY（⏸）キー）を押します。

## インデックスのサーチ



再生中（または一時停止中）に、前後のインデックス番号に移動する方法を説明します。

- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目“SYSTEM?” → “INDEX?” を選択します。  
ディスプレイに“Index> XXX” (ON/OFF を選択可能) が表示されます。
- 2 MULTI JOG ダイヤル（またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、インデックス機能をオンにします。
- 3 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。  
ディスプレイのキャラクター表示部に“Index XX” (XX はインデックス番号) が表示されます。
- 4 フロントパネルの▶▶/▶、◀◀/◀ キー（またはリモコンの SEARCH キー) の一方を押します。  
後ろ (▶▶) または手前 (◀◀) のインデックス番号に移動し、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。

### ヒント

録音時、マニュアル操作で任意の位置にインデックス番号を付けることができます (→ P33)。

## 再生モード

本機では、4種類の再生方法（再生モード）の中から1つを選んで使用できます。選択できる再生方法は次の通りです。

### 連続再生（初期設定）

トラック番号の順番通りに再生します。

### シングル再生

1トラックだけを再生し、再生後に停止します。

### プログラム再生

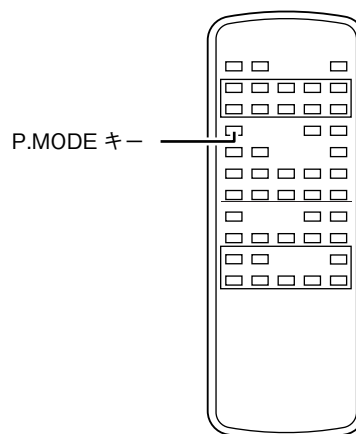
トラックを登録した順序で再生します。

### ランダム再生

ディスクのすべてのトラックをトラック番号に関係なく、ランダムに再生します。

再生モードを切り替えるには、リモコンのキーを使用する方法と、メニューモードを使用する方法があります。

## リモコンのキーを使用する場合



- 1 停止状態で、リモコンの P.MODE キーを繰り返し押します。キーを押すたびに、モードが切り替わります。ディスプレイには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

| ディスプレイ表示 | 再生モード   |
|----------|---------|
| Continue | 連続再生    |
| Single   | シングル再生  |
| Program  | プログラム再生 |
| Random   | ランダム再生  |

- 2 P.MODE キーの操作を終えてしばらくすると、元の表示に戻ります。

選択中の再生モードにより、画面右部に次のような表示が現れます。

| 再生モード   | インジケータ表示        |
|---------|-----------------|
| 連続再生    | 表示無し            |
| シングル再生  | [SINGLE] が点灯    |
| プログラム再生 | [PROGRAM] が赤く点灯 |
| ランダム再生  | [RANDOM] が赤く点灯  |

## メニューモードを使用する場合

- 1 停止状態で、「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目“PLAY MODE?”を表示させ、MULTI JOG ダイアルを押し込みます。
- 2 MULTI JOG ダイアルを回して、再生モードを選びます。変更した再生モードは即座に反映されます。ディスプレイには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

| ディスプレイ表示     | 再生モード   |
|--------------|---------|
| Mode>Cont    | 連続再生    |
| Mode>Single  | シングル再生  |
| Mode>Program | プログラム再生 |
| Mode>Random  | ランダム再生  |

- 3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キー、または MULTI JOG ダイアルを押し込みます。

### ご注意

変更した再生モードは、電源を切っても保持されます。ただし、プログラム再生のプログラム内容は電源を切ると消去されます。

## 連続再生

トラック番号の順番通りに再生する標準的な再生モードです。

- 1 停止状態で、再生モードを“Continue”または“Mode>Cont”に設定します。  
設定方法は「再生モード」(→ P18) をご参照ください
- 2 フロントパネル(またはリモコン)のPLAY(▶)キーを押します。  
トラック番号の順に再生が行われます。

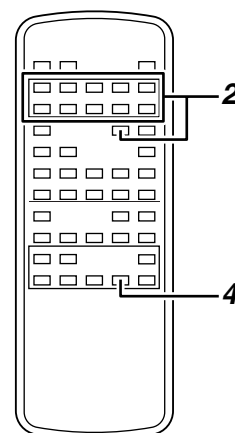
## シングル再生

1トラックだけを再生する再生モードです。

- 1 停止状態で、再生モードを“Single”に設定します。  
設定方法は「再生モード」(→ P18) をご参照ください。
- 2 必要ならば、リモコンのSKIPキー、リモコンの0~9、フロントパネルのMULTI JOGダイアルなどを使って、再生するトラックを選びます(→ P16)。
- 3 フロントパネル(またはリモコン)のPLAY(▶)キーを押します。  
1トラックだけ再生を行い、再生後に停止します。

## プログラム再生

あらかじめプログラムされた順序でトラックを再生する再生モードです。プログラムできるトラック数は最大99トラックです。



- 1 停止状態で、再生モードを“Program”に設定します。  
設定方法は「再生モード」(→ P18) をご参照ください。
- 2 リモコンの0~9キーを使ってプログラムするトラック番号を入力し、ENTERキーを押して確定します。  
トラック番号がプログラムされます。

### メモ

MULTI JOGダイアルを回してトラックを選び、MULTI JOGダイアルを押し込むことでも、プログラムが行えます。

- 3 手順2を繰り返して、1曲めから最後までプログラムを行います。

### メモ

- ・ 同じトラックを繰り返しプログラムすることも可能です。
- ・ リモコンのCLEARキーを押すと、最後にプログラムしたトラックがプログラムデータから消去されます。

- 4 PLAY(▶)キーを押してプログラム再生を始めます。

### ご注意

- ・ この再生モードでは、トラックが1つもプログラムされていないときは再生が行われません。
- ・ 停止中にSTOPキーを押すと、プログラムデータがすべて消去されます。
- ・ 停止中に再生モードを切り替えると、プログラムデータがすべて消去されます。
- ・ 本体の電源を切ると、プログラムデータがすべて消去されます。

### メモ

- ・ 100曲以上をプログラムしようとする時、エラーメッセージ“PGM Full!”が表示されます。プログラムできるのは99曲までです。
- ・ プログラムしたトラックの総再生時間が999分59秒を越えると、“---:--”と表示されます。

## 第4章 再生

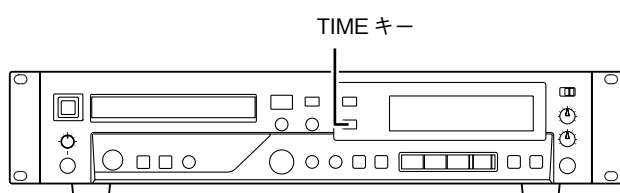
### ランダム再生

すべてのトラックをランダムに再生します。

- 1 停止状態で、再生モードを“Random”に設定します。  
設定方法は「再生モード」(→ P18)をご参照ください。
- 2 フロントパネル(またはリモコン)のPLAY(▶)キーを押します。  
トラック番号に関係なく、すべてのトラックをランダムに再生します。

### 時間表示の切り替え

ここでは、時間表示を切り替える方法を説明します。



フロントパネル(またはリモコン)のTIMEキーを押します。  
キーを押すたびに、4種類の時間表示が切り替わります。現在選ばれている表示方法は、以下のインジケーターの状態を確認できます。

#### 表示なし

現在のトラックの経過時間を表示します。

#### [REMAIN] が点灯

現在のトラックの残り時間を表示します。

#### [TOTAL] が点灯

ディスクの経過時間を表示します。

#### [TOTAL] と [REMAIN] が点灯

ディスクの残り時間を表示します。

#### メモ

- ・ 停止中は、[TOTAL]、[REMAIN]の点灯状態にかかわらず、常にディスク全体の録音時間を表示します。
- ・ プログラムモードでは、ディスク全体ではなくプログラム全体の経過時間と残り時間を表示します。
- ・ MP3ファイルを再生する場合、常にトラック経過時間が表示されます。TIMEキーの操作は無効です。
- ・ 録音中/録音待機中の時間表示については、「録音」の「時間表示の切り替え」(→ P30)をご参照ください。

### 外部同期再生

選択されたデジタル入力(OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU)のクロックに同期して、再生する方法を説明します。

- 1 フロントパネル(またはリモコン)のSTOP(■)キーを押して、停止状態にします。

- 2 「メニュー操作の基本」(→ P13)を参考に、メニュー項目“PLAY?” → “EXT SYNC?”を選択します。  
ディスプレイに“EXT Sync> XXX”(ON/OFFを選択可能)が表示されます。
- 3 MULTI JOGダイヤル(またはリモコンのMENU(+/-)キーとENTERキー)を使って、外部同期再生のオン/オフを切り替えます。  
オンにすると、INPUT SELECTで選択されている録音ソースからの入力クロックに同期して、再生を行います。

#### メモ

選択されたデジタル入力クロックに同期できなかった場合、ディスプレイに“EXT CLK Err!”と表示され、内部クロックで動作します。アナログ入力を選択されている場合も同様です。

#### ご注意

44.1kHz以外の信号で同期させた場合、再生音が変わったり、同期できないことがあります。

#### ヒント

- ・ 48kHzの信号で同期させた場合、48k Fsアジャスト機能を使うと、再生音を通常再生のようにすることができます。
- ・ 外部同期再生がオンのとき、停止、再生、一時停止中にフロントパネル(またはリモコン)のSYNC RECキーを押すと、48k Fsアジャスト機能のオン/オフが切り替わります。
- ・ 48k Fsアジャスト機能がオンのとき、再生中(または一時停止中)にディスプレイに“48k Fs Adj”が表示されます。(本機能はバックアップされます。ただし、外部同期再生のオン/オフが切り替わると、本機能は自動的にオフになります。)

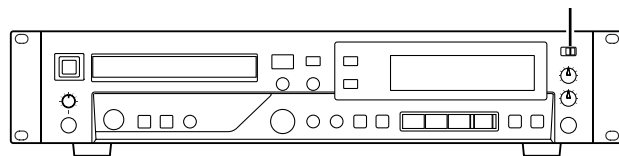
#### ご注意

- ・ 48kHz以外の信号で同期させた場合、48k Fsアジャスト機能をオンにすると再生音が変わります。
- ・ 48k Fsアジャスト機能がオンのときの再生音は、原音と異なる場合があります。
- ・ 48k Fsアジャスト機能がオンのとき、ピッチコントロール再生、キーコントロール再生の機能は無効になります。

### タイマープレイ

タイマープレイは、電源を入れると自動的に再生を始める機能です。この機能をオンに設定しておき、市販のタイマーなどを使って外部から本機の電源を入れれば、好きな時間に再生を開始できます。

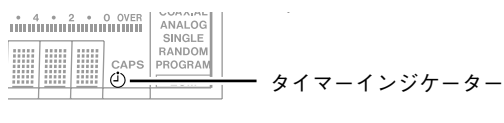
TIMER スイッチ



- 1 本機の電源がタイマーの電源出力から供給されるように、本機をタイマーに接続します。
- 2 再生するディスクを挿入します。

- 3 本体のTIMERスイッチをPLAY側に切り替えて、タイマープレイ機能をオンにします。

タイマープレイ機能がオンのとき、ディスプレイにタイマーインジケータが点灯します。



### メモ

ディスクが挿入されていないときは、タイマーインジケータが点滅します。

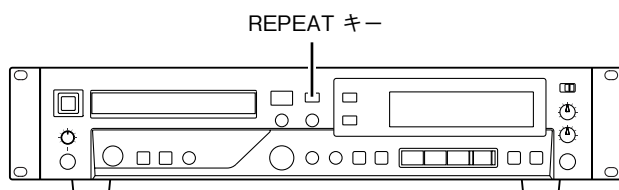
- 4 タイマーを希望の時刻に設定します。  
タイマーを設定した時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

## リピート再生

ここでは、現在セットされているディスクの全トラックを繰り返し再生したり、トラック内の特定区間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）したりする方法について説明します。

### 通常のリピート再生

ディスクのすべてのトラックを繰り返し再生します。



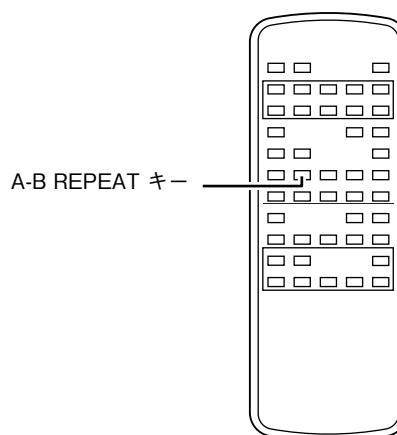
- 1 フロントパネル（またはリモコン）のREPEATキーを押して、リピート再生をオンにします。  
ディスプレイに“Repeat ON”と表示され、[REPEAT]インジケータが点灯します。  
この状態で、ディスクのすべてのトラックを繰り返し再生できます。  
再生中にリピート再生をオンにした場合は、そのまま再生を続け、ディスクの最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。停止中にオンにした場合は、PLAY (▶) キーを押すとリピート再生が始まります。
- 2 リピート再生をオフにするには、フロントパネル（またはリモコン）のREPEATキーをもう一度押します。  
ディスプレイに“Repeat OFF”と表示され、[REPEAT]インジケータが消灯します。

### メモ

- ・ リピート再生をシングル再生、プログラム再生、ランダム再生と組み合わせると、1曲リピート、プログラムリピート、ランダムリピートが行えます。
- ・ リピート機能の設定は、電源を切っても記憶されています。（A-B点は記憶されません。）

### A-B リピート再生

トラック内の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生します。



- 1 再生中にA-Bリピート再生の始点（A）にしたい位置で、リモコンのA-B REPEATキーを押します。  
ディスプレイの[REPEAT]インジケータが点灯し、[A-]インジケータが点滅します。

### メモ

REPEATキーを押すと、A-Bリピート再生の始点（A）が解除され、[REPEAT]インジケータと、[A-]インジケータが消灯します。

- 2 繰り返したい区間の終点（B）で、もう一度リモコンのA-B REPEATキーを押します。  
ディスプレイの[REPEAT]インジケータに加えて、[A-B]インジケータが点灯します。  
これで区間（A-B）が確定し、A-Bリピート再生が始まります。

### メモ

一時停止してから始点（A）と終点（B）を設定することも可能です。

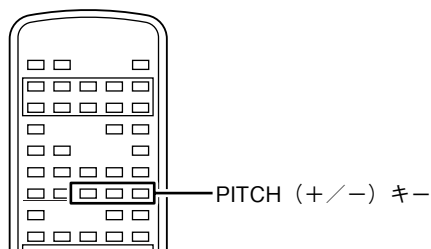
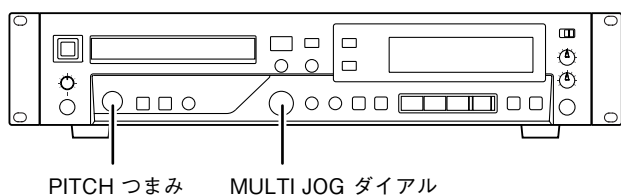
- 3 A-Bリピート再生をオフにするには、リモコンのA-B REPEATキー、またはREPEATキーを押します。  
ディスプレイの[REPEAT]インジケータと、[A-B]インジケータが消灯し、A-Bリピート再生が解除されます。再生中に解除した場合は、A-Bリピート再生の終点に指定した位置を越えても再生が続きます。

### ご注意

- ・ STOPキーを押すと、指定した区間（A-B）は消去されます。
- ・ MP3ファイルでは、A-Bリピート再生は行えません。
- ・ トラックを跨いでの、A-Bリピート再生は行えません。
- ・ プログラム、ランダムモード時はA-Bリピート再生は行えません。

### ピッチコントロール再生

本機では、ピッチ（音の高さと再生の速さ）を変化させて再生できます（ピッチコントロール再生）。



- 1 PITCHつまみ（またはリモコンの PITCH キー）を押して、ピッチコントロール再生のオン/オフを切り替えます。オンにするとディスプレイで **[PITCH]** インジケーターが点灯します。
- 2 PITCHつまみを回して（またはリモコンの PITCH (+/-) キーを押して）、ピッチコントロール値を設定します。ディスプレイに “Pitch> XXX%”（- 16.0 ~ 0.0 ~ + 16.0 を選択可能）と表示されます。

#### メモ

調節する値の細かさは、メニュー項目 “PITCH STEP?” を使って、0.1% ~ 1.0% の範囲で設定できます。

- 3 ピッチコントロール再生を一時的にオフにするには、PITCHつまみ（またはリモコンの PITCH キー）を押します。ディスプレイに “Pitch OFF” が表示され、ピッチコントロール再生がオフになります。元に戻すには、もう一度同じキーを押します。

#### ご注意

- ・再生中にピッチコントロール再生のオン/オフを切り替えると、再生音が瞬間的に途切れることがありますのでご注意ください。
- ・MP3 ファイルに対してはピッチコントロールが働きません。

### キーコントロール再生

オーディオ CD 再生時に、キーを変えることができます。MP3 ディスクに対しては本機能は働きません。

- 1 リモコンの KEY キーを押して、キーコントロールのオン/オフを切り換えます。キーコントロールがオンになると、ディスプレイに “Key XXX” が表示され、**[KEY]** インジケーターが点灯します。
- 2 「メニュー操作の基本」(→P13) を参考に、メニュー項目 “PLAY?” → “KEY LEVEL?” を選択します。ディスプレイに “Key Level> XXX”（0（音程の変化無し）、b 1 ~ b 6、# 1 ~ # 6 から選択可能）が表示されます。
- 3 MULTI JOG ダイアルを回して（またはリモコンの MENU (+/-) キーを押して）、キーコントロールレベルの値を設定します。この状態で CD を再生すると、スピードは変わらず、キーだけが変化して再生されます。

#### ヒント

キーコントロール機能がオンのときにピッチコントロール機能を使うと、再生スピードが変わるだけで音程は変わりません（再生される音程は “KEY LEVEL?” 項目で設定された音程に固定されます）。

したがって “KEY LEVEL?” を “0” に設定してキーコントロール機能をオンにしておく、ピッチコントロールを使って音程を変えずに再生スピードだけを変えることができます。

#### メモ

リモコンの KEY キーを押す代わりにメニュー項目 “PLAY?” → “KEY?” を選択して、オン/オフを切り替えることもできます。

#### ご注意

キーコントロール機能を使用している時に再生音が震えているように聞こえることがありますが、これは CD の再生音を特殊処理している為に発生するもので、故障ではありません。

## MP3 ファイルの再生

ここでは、MP3 ファイルが収録されたディスク（MP3 ディスク）を再生する方法を説明します。

MP3 ディスクを再生するには、ディスク内のすべての MP3 ファイルを再生対象にする方法と、特定のディレクトリ（フォルダ）に含まれる MP3 ファイルのみを再生対象にする方法（ディレクトリモード）があります。

### メモ

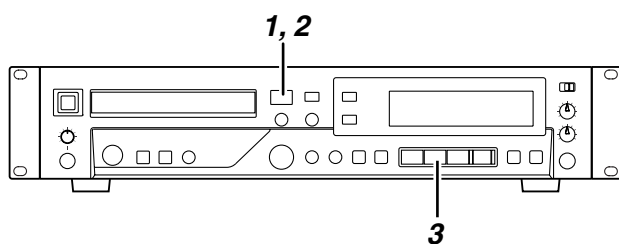
- ・ 本機では ISO9660 レベル 1、レベル 2、または Joliet に準拠したフォーマットで記録された MP3 ファイルを再生することができます。また、マルチセッションで記録されたディスクも再生することが可能です。
- ・ MP3 ファイルとディレクトリ数に以下のような制限を設けております。  
最大ディレクトリ数：255  
最大階層数：8  
最大 MP3 ファイル数：999  
最大 MP3 ディレクトリ名、ファイル名、ID3Tag 名：255 文字
- ・ MP3 のトラック情報について  
再生中にディスプレイに表示される優先順位は ID3v2 > ID3v1 > ファイル名となっています。  
また、停止中はファイル名を表示します。

### ご注意

44.1kHz 以外のサンプリングレートで変換された MP3 ファイルは、正常に再生できません。推奨フォーマットはサンプリングレート 44.1kHz、ビットレート 128kbps 以上です。

## すべての MP3 ファイルを再生する

本機では、MP3 ディスクを通常のディスクと同じように再生できます。



- 1 OPEN/CLOSE (▲) キーを押して、ディスクトレイを開き、MP3 ファイルの収録されたディスクを載せます。
- 2 OPEN/CLOSE (▲) キーを押して、ディスクトレイを閉じます。  
ディスプレイには "Close" と表示され、ディスクトレイが完全に閉じると、表示が "TOC Reading." に切り替わります。

ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレイの [MP3] インジケータが点灯し、MP3 ディスクの総トラック数が表示されます。総再生時間は表示されません。



### メモ

- ・ MP3 ファイルが保存されたディスクでは、それぞれの MP3 ファイルが「トラック」として扱われます。
- ・ MP3 ディスク内部が複数のディレクトリ（階層構造）に分かれている場合でも、子ディレクトリや孫ディレクトリにあるすべての MP3 ファイルが読み出されます。
- ・ トラック番号は、ルートディレクトリ（ディスクの最上段の階層）にある MP3 を先頭に自動的に付けられます。

- 3 再生を始めるには、PLAY (▶) キーを押します。  
MP3 が再生されます。

### メモ

- ・ 選曲は通常のディスクを操作するときと同じように行えます。
- ・ プログラム再生、リピート再生 (A-B リピート再生を除く) などは、通常のディスクと同じように行えます。
- ・ 再生、または一時停止中に MULTI JOG ダイヤルを押し込むと、現在再生されている MP3 ファイルの ID3Tag、ID3Tag が存在しない場合は、ファイル名が確認できます。

### ご注意

MP3 ディスクでは、トラックのサーチが行えません。

## ディレクトリを指定して再生する

MP3 ディスク内部のディレクトリ単位で MP3 ファイルの再生を行うディレクトリモードについて説明します。

### ディレクトリ再生について

ディレクトリとは、CD メディアやハードディスク上の階層のことで、フォルダと呼ばれることもあります。

ディレクトリモードをオンにすると、選択されたディレクトリ内のファイルのみが操作対象になり、プログラム再生、リピート再生などもすべて同じディレクトリ内で行われます。

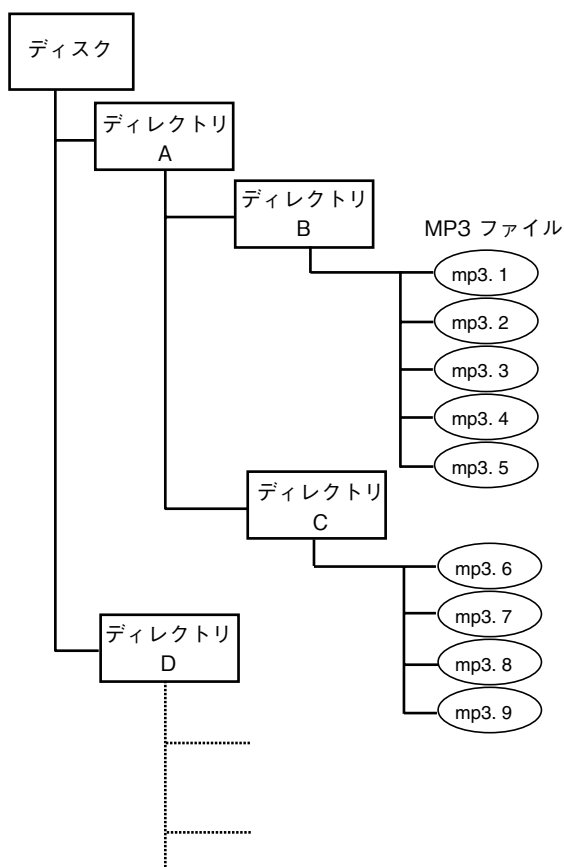
ディレクトリモードがオフのときは、ディレクトリ構造が無視され、ディスクに収録されているすべての MP3 ファイルが再生対象になります。

### メモ

- ・ MP3 ファイルを収録したディスクでは、各 MP3 ファイルが「トラック」として扱われます。
- ・ MP3 ファイルが収納されていないディレクトリは操作対象として選択できません。たとえば次ページの階層図の場合、MP3 ファイルが収納されているディレクトリ B、C は、操作対象ディレクトリとして選択できますが、ディレクトリ A は操作対象から外されます。

### ご注意

ディレクトリモードをオンにすると、ルートディレクトリ（下図のディレクトリ A やディレクトリ D がある、最上段の階層）にある MP3 ファイルは再生の対象外となります。



### ディレクトリ再生の設定

ディレクトリモードのオン/オフを切り替える方法と、ディレクトリモードの操作について説明します。

#### メモ

以下の説明では、ディレクトリモードのオン/オフの切り替え操作を、メニューモードを使用して行いますが、リモコンの DIRECTORY キーを使用することもできます。

- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、サブメニュー項目 “DIRECTORY?” を表示させ、MULTI JOG ダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに “DIR> XXX” (ON/OFF) を選択可能が表示されます。
- 2 MULTI JOG ダイヤルを回して、ディレクトリモードのオン/オフを切り替えます。  
オンにするとディスプレイで [GROUP] インジケータが点灯します。
- 3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キーを押します。
- 4 操作対象となるディレクトリを選ぶには、停止中のとき、<◀/▶> キー、▶/▶ キー（またはリモコンの SEARCH キー）を操作します。

ディスプレイに “DIR XXX” (ディレクトリの番号を選択可能) が表示されます。

操作を止めてしばらくすると、元の表示に戻ります。このとき最後に表示されていたディレクトリが、操作対象になります。

#### メモ

・ MP3 ファイルが存在しないディレクトリは、操作対象として表示されません。このため、選択するディレクトリの番号が連続していない場合もあります。

- 5 フロントパネル（またはリモコン）の PLAY (▶) キーを押します。  
選択したディレクトリ内で再生が始まります。プログラム再生、リピート再生などもすべて同一ディレクトリ内で行われます。

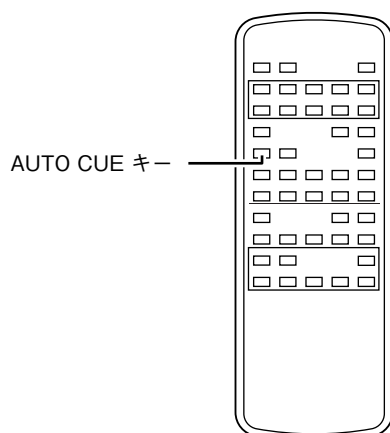
#### メモ

再生中は MULTI JOG ダイヤル（またはリモコンの SKIP キー）を使って、トラック（MP3 ファイル）の選択が行えます。



## オートキュー機能

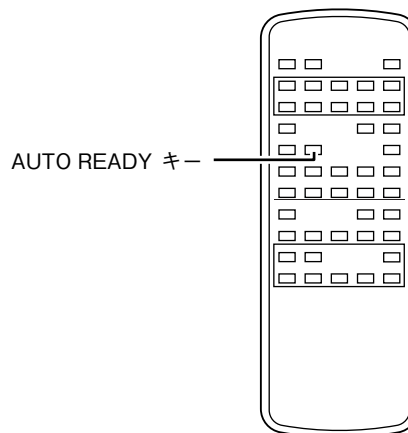
指定したレベル以上の音量を検知して、一時停止状態にさせる方法（オートキュー機能）について説明します。



- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目 “PLAY?” → “A\_CUE LEVEL?” を選択します。  
ディスプレイに “A\_Cue> XXX” (−24dB ~ −72dB / 6dB ステップを選択可能) が表示されます。
- 2 MULTI JOG ダイヤル (またはリモコンの MENU (+/−) キーと ENTER キー) を使って、オートキュー機能が働く音量のしきい値を設定します。
- 3 フロントパネル (またはリモコン) の AUTO CUE キーを押します。  
オートキュー機能がオンになると、ディスプレイに “A\_CUE XXX” (XXX はしきい値) が表示され、[A.CUE] インジケータが点灯します。
- 4 フロントパネル (またはリモコン) の PLAY (▶) キーを押して、任意のトラックを再生します。  
この状態で指定したレベル以上の音量を検知すると、自動的に一時停止状態になります。
- 5 オフにするには、もう一度 AUTO CUE キーを押します。  
ディスプレイに “A\_CUE OFF” と表示され、オートキュー機能がオフになります。

## オートレディ機能

再生中のトラックが終了した後、次のトラックの先頭で一時停止状態にする方法（オートレディ機能）について説明します。



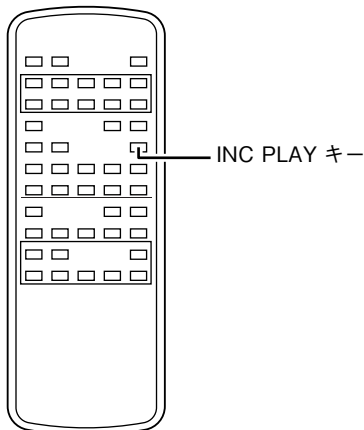
- 1 フロントパネル (またはリモコン) の AUTO READY キーを押します。  
オートレディ機能がオンになると、ディスプレイに “A\_READY ON” と表示され、[A.READY] インジケータが点灯します。  
この状態で再生中のトラックが終了すると、次のトラックの先頭で自動的に一時停止状態になります。
- 2 オフにするには、もう一度 AUTO READY キーを押します。  
ディスプレイに “A\_READY OFF” と表示され、オートレディ機能がオフになります。

### ヒント

オートキュー機能と組み合わせると、次のトラックの音の立ち上がりで一時停止状態にできます。

### インクリメンタルプレイ

PLAY (▶) キーまたは STOP (■) キーを押したとき、次のトラックの先頭から再生、または次のトラックの先頭で一時停止状態にする方法 (インクリメンタルプレイ) について説明します。



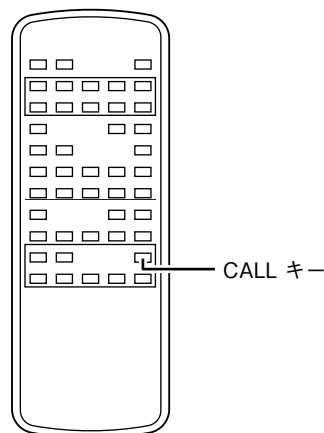
- 1 リモコンの INC PLAY キーを押します。  
インクリメンタルプレイがオンになると、再生中または一時停止中に、TRACK マークが点滅します。
- 2 PLAY (▶) キーまたは STOP (■) キーを押します。  
PLAY (▶) キーを押した場合は、次のトラックを先頭から再生します。  
STOP (■) キーを押した場合は、次のトラックを先頭に移動した後、一時停止状態になります。
- 3 オフにするには、もう一度 INC PLAY キーを押します。  
TRACK マークが点灯に変わります。

#### メモ

- ・ リモコンの INC PLAY キーを押す代わりにメニュー項目 "PLAY?" → "INC PLAY?" を選択して、オン/オフを切り替えることもできます。
- ・ 最終トラックで PLAY (▶) キーまたは STOP (■) キーを押すと、先頭トラックに移動して、再生または一時停止します。

### コール機能

最後に一時停止状態から再生を開始したポイント (コールポイント) に移動して、一時停止状態にする方法 (コール機能) について説明します。



- 1 フロントパネル (またはリモコン) の CALL キーを押します。  
コールポイントに移動した後、一時停止状態になります。

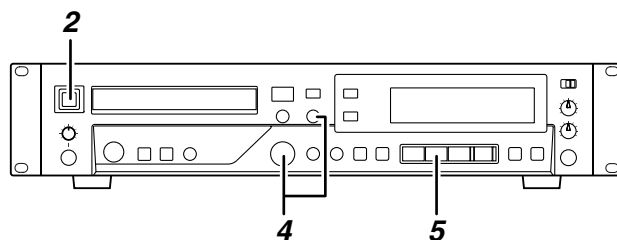
#### メモ

コールポイントが設定されていないときに CALL キーを押すと、エラーメッセージ "No Call PT!!" が表示されます。

#### ご注意

- ・ プログラム、ランダムモード時はコール機能を使用出来ません。
- ・ MP3 ファイルには、コール機能を使用出来ません。
- ・ 以下の操作を行うと、コールポイントが消去されます。
  - ・ 本体の電源を切る
  - ・ ディスクトレイを開閉する
  - ・ 再生モードを切り替える
  - ・ ディスクの内容を変更する (録音、消去など)

### EOM 機能



トラック、またはディスクの残り時間が設定した時間以下になると、CONTROL I/O (PARALLEL) 端子から EOM タリー信号を出力する方法 (EOM 機能) について説明します。

- 1 EOM タリー信号を受信する機器を CONTROL I/O (PARALLEL) 端子に接続します。
- 2 本体の POWER スイッチを押して電源を入れます。

- 3 EOMタリー信号を出力するトリガー（トラックまたはディスクの残り時間）を設定します。

**トラックの残り時間をトリガーにする場合：**

停止状態で、メニュー項目“PLAY?” → “EOM TRK?” を選択します。

ディスプレイに“EOM TRK> XXX”（OFF、1～99s を選択可能）が表示されます。

**ディスクの残り時間をトリガーにする場合：**

停止状態で、メニュー項目“PLAY?” → “EOM DISC?” を選択します。

ディスプレイに“EOM DISC>XXX”（OFF、1～99s を選択可能）が表示されます。

- 4 MULTI JOG ダイヤル（またはリモコンのMENU（+/-）キーとENTERキー）を使って、トリガーとなる残り時間を設定します。

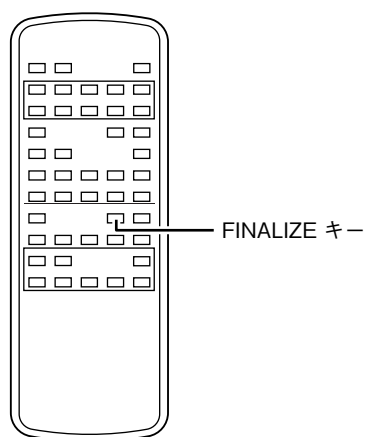
- 5 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（▶）キーを押します。

再生中のトラックまたはディスクが設定された時間以下になると、[EOM] インジケータが点滅して、CONTROL I/O（PARALLEL）端子からEOMタリー信号が出力されます。

**メモ**

- ・トラックおよびディスクの残り時間が両方ともトリガーとして設定されている場合、どちらかの条件を満たした時点でEOMタリー信号が出力されます。
- ・MP3ファイル再生時には、EOMタリー信号は出力されません。

## ISRC (International Standard Recording Code) 表示



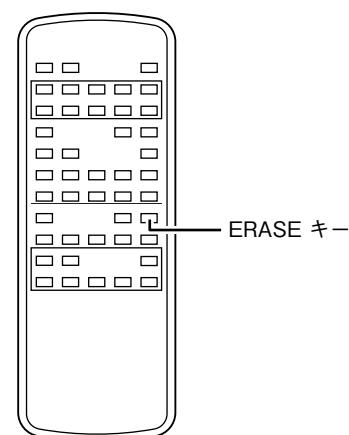
ISRCコードを表示する方法について説明します。

- 1 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
- 2 フロントパネルのFINALIZE/INSキー（またはリモコンのFINALIZEキー）を押します。  
ディスプレイにISRCコードが表示されます。

**メモ**

読み込みが完了していないディスク、またはISRCコードが存在しないディスクに対してこの操作をすると、エラーメッセージ“Incomplete!”が表示されます。

## RID (Recorder Identification Data) 表示



RIDコードを表示する方法について説明します。

- 1 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
- 2 フロントパネルのERASE/DELキー（またはリモコンのERASEキー）を押します。  
ディスプレイにRIDコードが表示されます。

**メモ**

- ・読み込みが完了していないディスク、またはRIDコードが存在しないディスクに対してこの操作をすると、エラーメッセージ“Incomplete!”が表示されます。
- ・RIDコードの最初の3桁はメーカーコード、次の4桁はタイプコード、最後の5桁はレコーダーごとに割り当てられるコードです。

## 第5章 録音

ここでは、ディスクトレイに挿入した CD-R/CD-RW メディアに録音を行う方法や、録音時の各種機能について説明します。

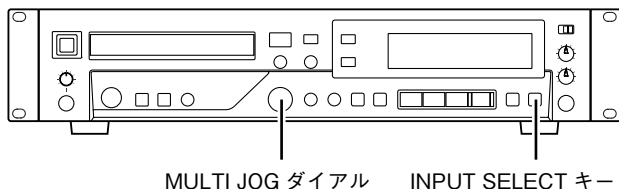
### 録音する前に

以下の項目は、録音を行うときに知っておくと、不要なトラブルが避けられます。一通りお読みになってから、録音の準備を行ってください。

- ・ CDの規格により1枚のディスクには99トラック(曲)までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。
- ・ 録音を始めてから4秒以内にSTOPキーまたはREADYキーを押した場合は、4秒経ってから停止、または録音待機状態となります。その間は無音録音状態になります。
- ・ 録音の途中で99曲まで達した場合は、“Disc Full!”と“PMA Writing”を表示した後、停止します。
- ・ 録音の途中でディスクの録音可能時間を使いきった場合は、フェードアウトした後、“Disc Full!”と“PMA Writing”を表示して停止します。
- ・ 途中まで録音してあるディスク(ファイナライズ処理されていないもの)を入れた場合は、追記録音することができません。
- ・ ファイナライズ済みのCD-RWにさらに録音したいときは、一度アンファイナライズします(→P34)。

### 入力信号の選択

入力信号(録音ソース)は、5系統の中から1系統を選択します。



録音ソースを選択するには、フロントパネルのINPUT SELECTキー(またはリモコンのINPUT SELキー)を押します。

キーを押すたびに、5種類の録音ソースが切り替わります。現在選ばれている録音ソースは、以下のインジケータの状態を確認できます。

#### [ANALOG] が点灯

録音ソースとして、ANALOG IN (UNBALANCED) 端子 L/R の入力信号を選択します。

ディスプレイには、しばらくの間“Unbalance”が表示されます。

#### [ANALOG] が点滅

録音ソースとして、ANALOG INPUT (BALANCED) 端子 L/R の入力信号を選択します。

ディスプレイには、しばらくの間“Balance”が表示されます。

#### [OPTICAL] が点灯

録音ソースとして、DIGITAL IN (OPTICAL) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレイには、しばらくの間“Optical”が表示されます。

#### [COAXIAL] が点灯

録音ソースとして、DIGITAL IN (COAXIAL) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレイには、しばらくの間“Coaxial”が表示されます。

#### [ANALOG]、[OPTICAL]、[COAXIAL] のすべてが消灯

録音ソースとして、DIGITAL INPUT (AES/EBU) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレイには、しばらくの間“AES/EBU”が表示されます。

### サンプリングレートコンバーターを使用する

本機は常に44.1kHz(CDのサンプリングレート)で録音します。ただし、DIGITAL IN 端子(OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU)から異なるサンプリングレートの信号をデジタル録音する場合は、以下の方法でサンプリングレートコンバーター(SRC)をオンにする必要があります。

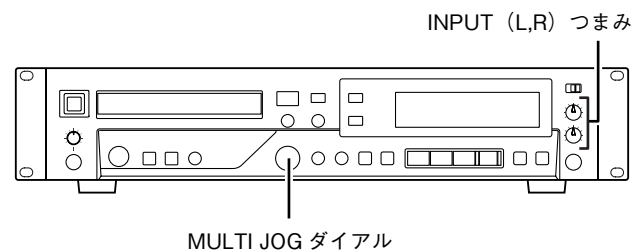
- 1 「メニュー操作の基本」(→P13)を参考に、サブメニュー項目“SRC?”を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに“SRC> XXX (ON/OFFを選択可能)”が表示されます。
- 2 MULTI JOGダイヤルを回して、SRCのオン/オフを切り替えます。
- 3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキー、またはMULTI JOGダイヤルを押し込みます。

### メモ

- ・ SRCがオフの状態では信号をDIGITAL IN端子(OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU)から受信しているとき、記録中、記録待機中にディスプレイの[REC]インジケータが点滅します。
- ・ SRCがオフのとき、44.1kHz以外のデジタル信号は録音できません。録音しようとすると、エラーメッセージ“Not Fs44.1K!”が表示されます。

### 入力信号の調節

ここでは、入力信号のレベルを調節する方法について説明します。



- 1 録音ソースとして設定した端子に、録音元の再生装置などが接続されていることを確認してください。
- 2 録音ソースがアナログの場合([ANALOG]が点灯、または点滅している場合)は、INPUT (L,R)つまみを使って、接続した再生装置からの信号レベルを調節します。  
ディスプレイに表示されるメーターがクリップしない範囲で、レベルをできるだけ高めに設定してください。  
INPUT (L,R)つまみは、左右のレベルを個別に調整できます。

**ご注意**

録音ソースがデジタル信号の場合、INPUT (L,R) つまみの設定は無効です。

**メモ**

INPUT (L,R) つまみは、ANALOG IN (UNBALANCED/BALANCED) 端子L/Rの入力信号が、デジタル信号に変換される前のレベルを調節しています。

3 ディスクに録音されるレベル（デジタルボリューム）を、次の手順に従って設定します。

- ① 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、サブメニュー項目“VOLUME?”を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押し込みます。

ディスプレイに“Vol> XXXdB (−∞、−54.0 ~ +18.0 を選択可能)”と表示されます。

- ② MULTI JOGダイヤルを回して、録音レベルを設定します。

アナログ信号を入力している場合、レベルは手順2のINPUT (L,R) つまみで調節しておき、デジタルボリュームは0dBにするのが理想的です。

デジタル信号を入力している場合は、レベルの低すぎる信号や高すぎる信号を補正するのに利用します。

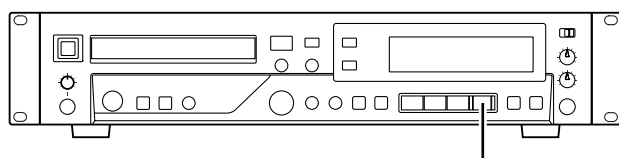
**ご注意**

デジタルボリュームを不用意に上げると、信号がクリップしますのでご注意ください。

- ③ メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキー、またはMULTI JOGダイヤルを押し込みます。

**入力信号のモニター**

入力信号をモニターする方法を説明します。

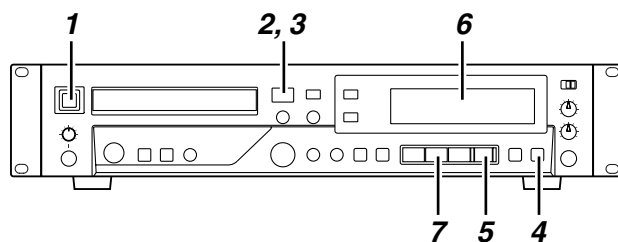


RECORD キー

- 1 ディスクが挿入されていないときに、フロントパネルのRECORDキー（またはリモコンのRECORDキー）を押します。  
ディスプレイに“Monitor”と表示され、入力信号のモニターが有効になります。
- 2 入力信号のモニターを解除するには、フロントパネル（またはリモコン）のSTOP (■) キーを押します。

**録音の基本操作**

ここでは、ディスクを挿入し、録音を行う手順について説明します。



- 1 POWERスイッチを押して電源を入れます。
- 2 OPEN/CLOSE (▲) キーを押して、ディスクトレイを開き、記録可能なディスクを載せます。
- 3 OPEN/CLOSE (▲) キーを押して、ディスクトレイを閉じます。  
ディスプレイに“Close”と表示され、ディスクトレイが完全に閉じると、表示が“TOC Reading.”に切り替わります。  
なお、空のディスクを挿入した場合、ディスプレイに“Blank Disc”と表示されます。
- 4 INPUT SELECT キー（またはリモコンのINPUT SEL キー）を押して録音ソースを選びます。  
録音ソースについて詳しくは、「入力信号の選択」(→ P28) をご参照ください。
- 5 RECORD (●) キーを押して録音待機状態にします。  
[REC] と [ ] が点灯し、ディスプレイに“Now OPC”と表示されます。

**メモ**

- ・ “OPC” は、Optimum Power Control の略です。これは、ディスクに記録するレーザーパワーを最適な状態にする動作です。
- ・ 録音ソースにデジタル信号を選んだ場合、信号が入力されていないときや不適切な信号を受信したときは、エラーメッセージ“D-IN UNLOCK!”と表示されます。

- 6 入力レベルを調節します。  
入力レベルについては、「入力信号の調節」(→ P28) をご参照ください。  
ディスプレイのメーター右端の[OVER]が点灯しない範囲で、なるべくレベルを高く調節してください。  
[OVER]が点灯するとクリップによるデジタルノイズが発生します。アナログ録音と異なり、メーターの[o]以降にヘッドルームはないので、ご注意ください。

**メモ**

CDなどを録音する場合は、原則として、メニュー項目のVOLUMEを“0.0dB”にすることをお勧めします。録音ソースとなるCDをクリップさせずに録音できます。

- 7 録音を始めるには、PLAY (▶) キーを押します。  
録音ソースとして接続した再生装置などから、信号を入力してください。  
なお、録音を停止したり、一時停止したりするには、次のように操作します。

## 第5章 録音

### 録音を一時停止するには

READY (■) キーを押します。もう一度PLAY (▶) キーを押すと、再び録音が始まります。

### 録音を止めるには

STOP (■) キーを押します。

ディスプレイに“PMA Writing”を表示してディスクに録音内容を記録します。

### ご注意

“PMA Writing”と表示されている間は、ディスクに録音内容を記録しています。このため、キー操作は受け付けません。

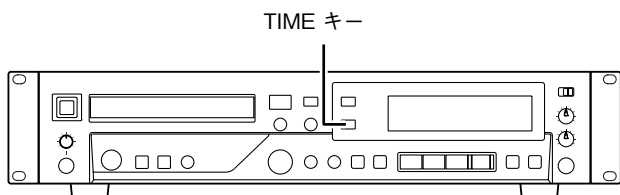
“PMA Writing”と表示されているときに本機を揺らしたり、電源を切ったりすることは、絶対におやめください。録音内容を正しく記録できなくなります。

### メモ

SYSTEM メニューのREC TIME サブメニューを表示すると本機で録音した総時間が確認できます。

## 時間表示の切り替え

ここでは、録音中（または録音待機中）に時間表示を切り替える方法を説明します。



録音中（または録音待機中）に、フロントパネル（またはリモコン）のTIME キーを押します。

キーを押すたびに、4種類の時間表示が切り替わります。現在選ばれている表示方法は、以下のインジケータの状態を確認できます。

### 表示なし

現在のトラックの録音済み時間を表示します。

### [REMAIN] が点灯

ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

### [TOTAL] が点灯

ディスク全体の録音経過時間を表示します。

### [TOTAL] と [REMAIN] が点灯

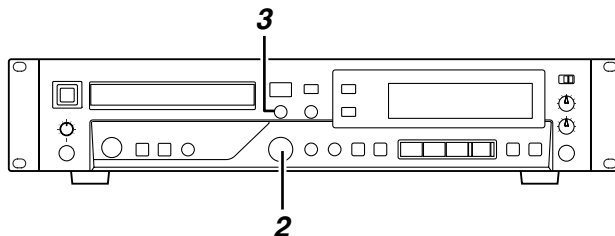
ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

### メモ

再生中／一時停止中の時間表示については、「再生」の「時間表示の切り替え」(→ P20) をご参照ください。

## フェードイン／アウト

録音中に、入力信号を無音状態から設定したレベルまでフェードインさせたり、逆に現在のレベルから無音状態までフェードアウトすることができます。フェードイン／アウトの時間は、個別に設定できます。



- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、サブメニュー項目“FADE IN?”を表示させ、MULTI JOG ダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに“Fade In> XXs (1 ~ 30 を選択可能)”と表示されます。  
ここではフェードインの時間を設定できます。
- 2 MULTI JOG ダイヤルを回して、フェードインの時間を設定します。
- 3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キーを押します。  
手順1でメニュー項目“FADE OUT?”を選べば、同じ要領でフェードアウトの時間を設定できます。
- 4 フェードインを行うときは、録音待機中にリモコンのFADER キーを押します。  
フェードインと同時に録音が始まり、ディスプレイには“Fade In”と表示されます。
- 5 フェードアウトを行うときは、録音中に、リモコンのFADER キーを押します。  
フェードアウトが始まり、無音状態になったところで録音が停止します。フェードアウトを行っている間、ディスプレイには“Fade Out”と表示されます。

### メモ

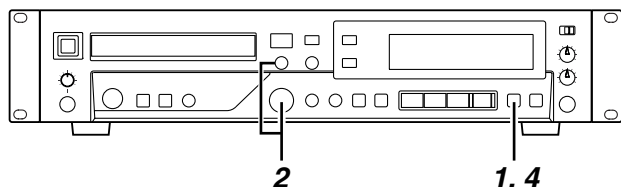
- ・フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。
- ・フェードイン／アウト機能はリモコンからのみ操作できます。

## シンク録音

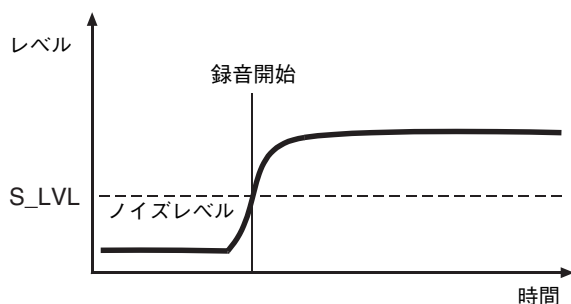
シンク録音とは、一定レベル（シンクレベル）以上の信号が入力されたときに自動的に録音が始まり、終わりの無音部分を検出して自動的に録音が終わる録音です。

### メモ

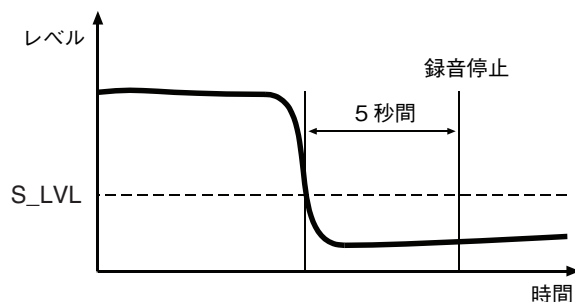
この取扱説明書では、現在設定されているシンクレベル以下の音を「無音」と呼びます。



- 1 録音待機状態にした後で（→ P29 「録音の基本操作」）、SYNC REC キーを押し、ディスプレイに“Sync ON”を表示させます。  
ディスプレイの [ SYNC ] インジケータが点灯して、シンク録音待機状態となります。
- 2 必要ならば、以下の要領でシンクレベルを設定します。
  - ① 「メニュー操作の基本」（→ P13）を参考に、サブメニュー項目“SYNC LEVEL?”を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに“S\_LVL> XXXdB”と表示されます。
  - ② MULTI JOGダイヤルを回して、シンクレベルを設定します。設定範囲は-24dB～72dB（6dBステップ）です。
  - ③ MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのENTERキー）を押して、メニューモードを抜けます。
- 3 入力ソース機器の再生を開始します。  
入力ソース機器の再生開始後、手順2. で設定したレベル以上の入力を検出すると自動的に録音を開始します。ただし、設定後、設定レベル以下の入力が1秒以上無い場合、入力を検出して録音は開始されません。



5秒間無音が続くと、自動的に録音待機状態になります。

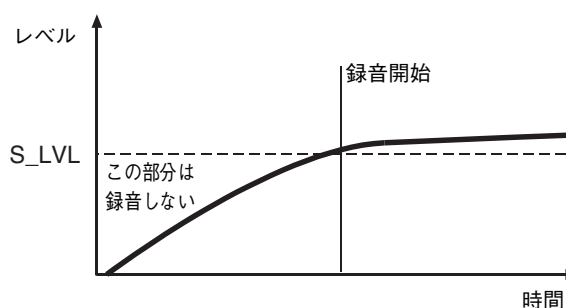


- 4 シンク録音を解除するには、SYNC REC キーを押し、“Sync OFF”を選択してください。

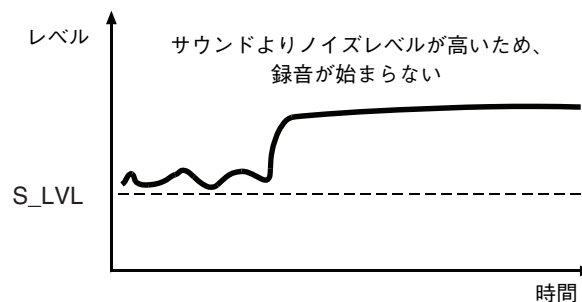
### メモ

シンク録音の設定はバックアップされています。

シンクレベルの設定が高すぎると、小さい音から始まる曲の初めの部分が欠けてしまうことがあります。



反対に、シンクレベルの設定が低すぎると、アナログソースなどのノイズレベルがシンクレベルより高くなってしまい、シンク録音が始まらないことがありますので、ご注意ください。



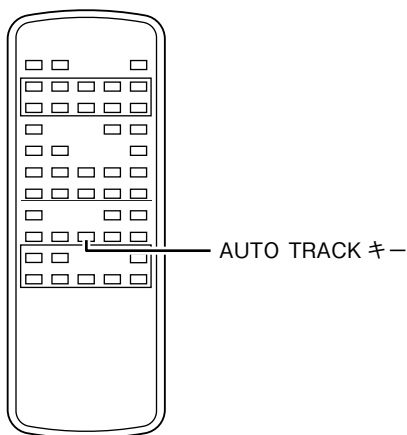
## シンクトリム機能

シンク録音開始ポイントから設定した時間だけずらして録音を始める方法（シンクトリム機能）について説明します。

- 1 「メニュー操作の基本」（→ P13）を参考に、メニュー項目“REC?” → “SYNC TRIM?”を選択します。  
ディスプレイに“S\_Trim> XXX”（-125f～+125f（フレーム）を選択可能）が表示されます。
- 2 MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのMENU（+/-）キーとENTERキー）を使って、録音開始ポイントからずらす時間量を設定します。
- 3 シンク録音の操作手順に従って、録音を開始します。

## オートトラック録音

オートトラック録音とは、設定された条件を満たしたときに、トラック番号を自動更新する機能です。



1 リモコンの AUTO TRACK キーを押して、オートトラックのモードを選択します。

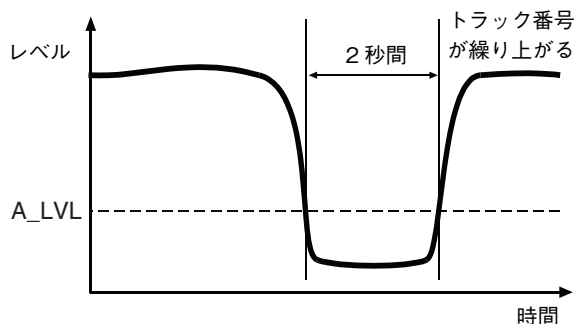
選択できるモードは次のとおりです。

### ・ Level

オートトラック動作レベル以下の信号が2秒以上続いた後で、信号が動作レベルを超えるとトラック番号が更新されます。

オートトラック動作レベルは、サブメニュー内の“A\_TRK LEVEL?”項目を使って設定します。設定範囲は-24dB ~ -72dB (6dB ステップ) です。

設定が有効になると、ディスプレイの[A.TRACK]インジケータが点灯します。



### ・ DD

デジタルソース (CD、DAT、MD) を録音するときに、ソース側のトラックの区切りを検出し、トラック番号が更新されます。

設定が有効になると、ディスプレイの[A.TRACK]インジケータが点灯します。

ただし、DD が選ばれているときでも、アナログソース録音時、または上記以外のデジタルソース録音時には、上記の“Level”設定の場合と同じように、入力レベルに応じてトラック番号が更新されます。

### ・ Time (タイムトラックインクリメント)

オートトラック動作が一定時間経過する度にトラック番号が更新されます。

トラック番号が更新する間隔は、サブメニュー内の“A\_TRK TIME?”項目を使って設定します。設定範囲は1m

~10m (1min ステップ) です。

設定が有効になると、録音中 (または録音待機中) にディスプレイの[A.TRACK]インジケータが点滅します。

2 録音を開始します。

オートトラックの設定に従って、トラック番号が自動更新されます。

### メモ

- ・ リモコンの AUTO TRACK キーを押す代わりにメニュー項目“REC?” → “A\_TRK?” で、オートトラックのモードを選択することもできます。
- ・ 録音中に、A\_TRK TIME の設定が変更された場合、変更後の設定値は次のトラックから有効になります。

## オートトラックトリム機能

オートトラックのモードが Level または DD のとき、録音開始ポイントから設定した時間だけずらして録音を始める方法 (オートトラックトリム機能) について説明します。

1 「メニュー操作の基本」 (→ P13) を参考に、メニュー項目“REC?” → “A\_TRK TRIM?” を選択します。

ディスプレイに“A\_Trim> XXX” (-125f ~ +125f (フレーム) を選択可能) が表示されます。

2 MULTI JOG ダイヤル (またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、録音開始ポイントからずらす時間量を設定します。

### メモ

オートトラックのモードが Time のときは、“A\_TRK TIME?” で設定した値が優先されるため、この機能の設定値は使用されません。

## インデックス番号の自動機能

オートトラック録音時、トラック番号の代わりにインデックス番号を更新する方法について説明します。

1 「メニュー操作の基本」 (→ P13) を参考に、メニュー項目“REC?” → “INDEX INC?” を選択します。

ディスプレイに“INC> XXX” (ON/OFF を選択可能) が表示されます。

2 MULTI JOG ダイヤル (またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、INDEX INC のオン/オフを切り替えます。

オンにすると、オートトラックのモードで指定した条件に応じてインデックス番号を更新します。このときトラック番号は更新されません。

### メモ

- ・ 1トラック内に付けられるインデックスの数は最大99です。このため、インデックス番号が99の時にはトラック番号が更新され、インデックス番号は1に戻ります。その後、新しいトラック内で99まで順次インデックス番号が更新されます。
- ・ INDEX INC が ON の場合、録音 (または録音待機中) にディスプレイのキャラクター表示部に“Index XX” (XX はインデックス番号) が表示されます。



## トラック番号のマニュアル更新

マニュアル操作でトラック番号を更新するには、次のように操作します。

- 1 トラック番号を付けたい位置で RECORD (●) キーを押します。  
トラック番号が更新されます。

### ご注意

トラック更新から 4 秒未満、または 99 トラック録音中は、本キー操作は受け付けません。

## インデックス番号のマニュアル更新

マニュアル操作でインデックス番号を更新するには、次のように操作します。

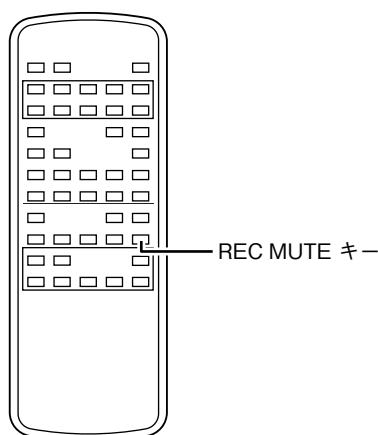
- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目 “SYSTEM?” → “INDEX?” を選択します。  
ディスプレイに “Index> XXX” (ON/OFF を選択可能) が表示されます。
- 2 MULTI JOG ダイヤル (またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、インデックス機能をオンにします。
- 3 録音状態にします。
- 4 インデックス番号を付けたい位置で、フロントパネル (またはリモコン) の CALL キーを押します。  
ディスプレイのキャラクター表示部に “Index XX” (XX はインデックス番号) が表示されて、インデックス番号が更新されます。

### メモ

1 トラック内に付けられるインデックスの数は最大 99 です。インデックス番号 99 の時のマニュアル更新は無視されます。

## レックミュート

無音録音部分を簡単につくることができます。



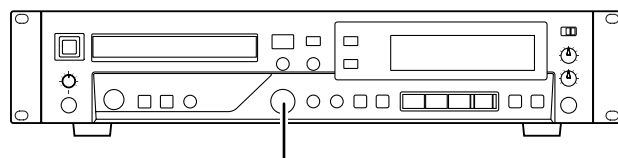
これを行うには、録音中にリモコンの REC MUTE キーを押します。

ディスプレイに “Rec Mute” が表示され、無音録音が始まります。約 4 秒後に録音待機状態になります。

### メモ

レックミュート機能はリモコンからのみ操作できます。

## 録音トラック数の指定



MULTI JOG ダイヤル

録音中に MULTI JOG ダイヤルを回すと、録音するトラック数を指定できます。

ディスプレイに録音するトラックの数が表示され、指定されたトラック数の録音が終了すると停止状態になります。

### メモ

指定できるトラック数は最大 99 です。

## コピー ID の設定

録音するトラックのコピー ID を設定する方法について説明します。

- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目 “REC?” → “COPY ID?” を選択します。  
ディスプレイに “Copy> XXX” が表示されます。
- 2 次の中からコピー ID の種類を選択します。
  - ・ Free  
録音するトラックにコピー制限を付けません。
  - ・ 1Gen  
録音するトラックから一世代に限りデジタルコピーを許可します。
  - ・ Prohi  
録音するトラックからのデジタルコピーを禁止します。
  - ・ Origin  
録音するトラックはデジタルコピールール (SCMS) に従って記録されます。

### メモ

コピー ID はトラック単位で設定可能です。ただし、録音中は設定を変更できません。

## 第6章 CD-R/CD-RW ディスクの各種操作

### ご注意

- ファイナライズ、アンファイナライズ、リフレッシュ、ディスク/トラック消去中は誤って電源を切ってしまうように、注意してください。ディスク情報が不正になるばかりではなく、ディスク自体が使用できなくなる恐れがあります。
- リフレッシュ、ディスク/トラックの消去により、消去したディスク/トラックの内容は永久に失われます。誤って大事なディスク/トラックを消去してしまわないように、慎重に行ってください。

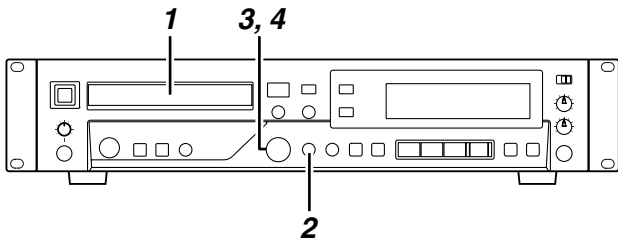
ここでは、録音済み CD-R/CD-RW ディスクを一般の CD プレーヤーで再生できるようにするファイナライズや、CD-RW ディスクの全トラックまたは一部のトラックを消去する方法など、CD-R/CD-RW ディスクの各種操作について説明します。

### ファイナライズ

ファイナライズとは、TOC（曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータの情報）を CD-R/CD-RW メディアに記録する操作のことです。

本機で録音したディスクは、最終的な TOC をディスクに記録するまで、一般の CD プレーヤーでは再生できません（ファイナライズ処理を行う前でも、本機で再生することは可能です）。

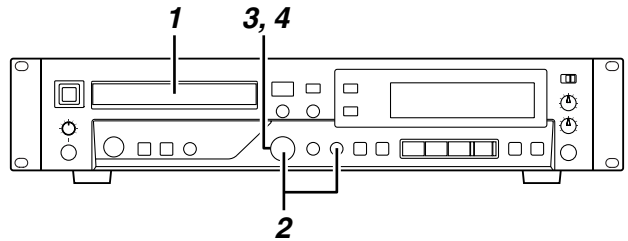
通常、ファイナライズ処理した CD-R/CD-RW メディアは、新たに追加録音できなくなります。ただし、CD-RW の場合は、アンファイナライズと呼ばれる処理を行えば、再び録音できるようになります。



- 1 ディスクトレイに録音済みの CD-R/CD-RW メディアを挿入します。
- 2 停止状態で、フロントパネルの FINALIZE/INS キー、またはリモコンの FINALIZE キーを押します。  
ディスプレイに "FINALIZE?" と表示されます。  
操作を取り消すには、FINALIZE/INS キー（リモコンの場合は FINALIZE キー）をもう一度押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに "Sure?" と表示されます。  
操作を取り消すには、STOP (■) キーを押します。
- 4 操作を実行するには、もう一度 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ファイナライズが始まり、ディスプレイに "TOC X:XX" と予想終了残り時間が表示されます。  
ファイナライズが終了すると、"Complete" と表示されます。  
なお、ファイナライズ処理中は、操作キーを一切受け付けません。

### アンファイナライズ

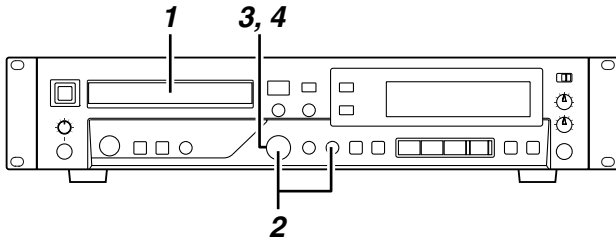
アンファイナライズとは、ファイナライズ済みの CD-RW メディアに追加録音できるようにする操作です。



- 1 ディスクトレイにファイナライズ済みの CD-RW メディアを挿入します。
- 2 停止状態でフロントパネルの ERASE/DEL キー（またはリモコンの ERASE キー）を押し、MULTI JOG ダイアル（リモコンの場合は MENU (+/-) キー）で "UNFINALIZE?" を選択します。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）をもう一度押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに "Sure?" と表示されます。  
操作を取り消すには、STOP (■) キーを押します。
- 4 操作を実行するには、もう一度 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
アンファイナライズが始まり、ディスプレイに "Erase X:XX" と予想終了残り時間が表示されます。  
アンファイナライズが終了すると、"Complete" と表示されます。

## リフレッシュ

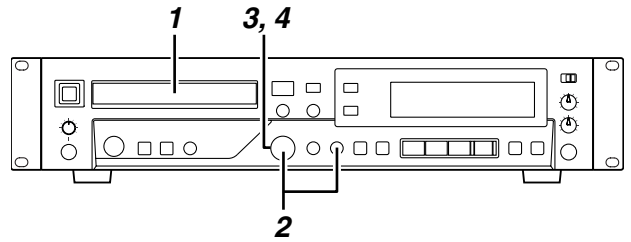
停電などが原因でファイナライズの途中で強制終了したディスクや、コンピューターで使用したディスクは、本機で認識できないことがあります。このような場合は、以下の操作でディスクをリフレッシュすると、認識できるようになることがあります。



- 1 ディスクトレイにメディアを挿入します。
- 2 停止状態でフロントパネルの ERASE/DEL キー（またはリモコンの ERASE キー）を押し、MULTI JOG ダイアル（リモコンの場合は MENU (+/-) キー）で “REFRESH?” を選択します。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）をもう一度押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに “Sure?” と表示されます。  
操作を取り消すには、STOP (■) キーを押します。
- 4 操作を実行するには、もう一度 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
リフレッシュが始まり、ディスプレイに “Erase X:XX” と予想終了残り時間が表示されます。  
リフレッシュが終了すると、“Complete” と表示されます。

## ディスクの消去

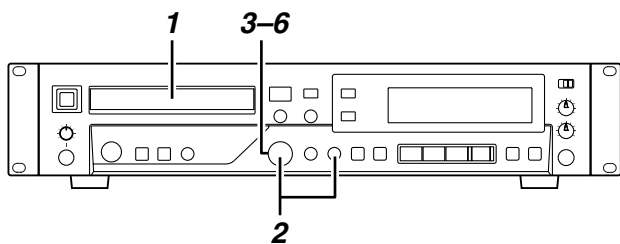
CD-RW に録音されたすべてのトラックを消去し、白紙の状態から録音できるようにします。



- 1 ディスクトレイに録音済みの CD-RW メディアを挿入します。
- 2 停止状態でフロントパネルの ERASE/DEL キー（またはリモコンの ERASE キー）を押し、MULTI JOG ダイアル（リモコンの場合は MENU (+/-) キー）で “ERASE DISC?” を選択します。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）をもう一度押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに “Sure?” と表示されます。  
操作を取り消すには、STOP (■) キーを押します。
- 4 操作を実行するには、もう一度 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスクの消去が始まり、ディスプレイに “Erase X:XX” と予想終了残り時間が表示されます。  
ディスクの消去が終了すると、“Complete” と表示されます。

### トラックの消去

録音された CD-RW メディアから、指定したトラックから最後のトラックまでを消去します。



- 1 ディスクトレイに録音済みのCD-RWメディアを挿入します。
- 2 停止状態でフロントパネルの ERASE/DEL キー（またはリモコンの ERASE キー）を押し、MULTI JOG ダイアル（リモコンの場合は MENU (+/-) キー）を回し “ERASE TRACK?” を選択します。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）をもう一度押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに “Erase XX-XX”（消去開始トラックー最終トラック）が表示されます。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）を押します。
- 4 MULTI JOG ダイアル（リモコンの場合は MENU (+/-)）で消去開始トラックを選択します。  
操作を取り消すには、ERASE/DEL キー（リモコンの場合は ERASE キー）を押します。
- 5 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
ディスプレイに “Sure?” と表示されます。  
操作を取り消すには、STOP (■) キーを押します。
- 6 操作を実行するには、もう一度 MULTI JOG ダイアルを押し込みます（リモコンの場合は ENTER キーを押します）。  
トラックの消去が始まり、ディスプレイに “Erase X:XX” と予想終了残り時間が表示されます。  
トラックの消去が終了すると、“Complete” と表示されます。

#### メモ

トラックの消去は再生モード “Continue” でしか実行できません。

## 第7章 名前を付ける

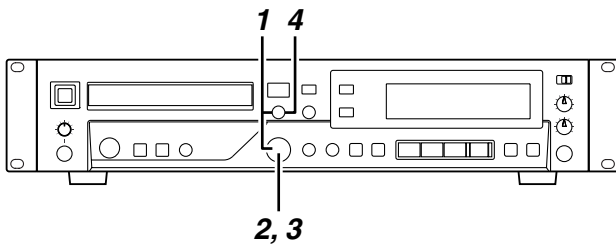
サブメニュー項目の“TEXT EDIT?”を使って、ディスクとトラックに名前を付けることができます。

### ご注意

名前を設定した後、ファイナライズを行わずに電源を切ると、TOCが記録されず、付けた名前が無効になります。TOCを記録するには、ファイナライズを実行してください。

### ディスクに名前を付ける

CD-R/CD-RW ディスクに固有の名前を付けます。



- 1 停止状態で、「メニュー操作の基本」(→ P13)を参考に、サブメニュー“TEXT EDIT?”を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに“Text> XXX”(Disc、または01～99のトラック番号が選べます)と表示されます。
- 2 MULTI JOGダイヤルを押し込み、MULTI JOGダイヤルを回して(リモコンの場合はMENU(+/-)キーを押して)、“Text> Disc”を選択します。
- 3 MULTI JOGダイヤルを押し込みます(リモコンの場合はENTERキーを押します)。  
キャラクター表示部に現在のディスク名が表示され、名前編集モードになります(カーソルが点滅します)。
- 4 以下の要領に従って名前を付け、本体のMENUキー(またはリモコンのMENUキー)を押して確定します。

名前編集モードでは、以下の要領で名前を付けます。

#### 入力する文字種を選択するには

本体またはリモコンのDISPLAYキーを押すと、以下の2通りの文字種が切り替わります。

- ・ 英小文字/記号(表示窓に無表示)
- ・ 英大文字/記号(表示窓に“CAPS”が点灯)

#### 文字を入力するには

MULTI JOGダイヤル(リモコンの場合はSKIPキー)で文字を選択し、MULTI JOGダイヤルを(リモコンの場合はENTERキー)を押して確定します。

#### カーソルを移動するには

◀◀/◀キー、▶▶/▶キーを使用します。

◀◀/◀キーを押すとカーソル位置が左に移動し、▶▶/▶キーを押すと右に移動します。

リモコンのSEARCHキーでもカーソルの移動が行えます。

#### 文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせてERASE/DELキー(リモコンの場合はERASEキー)を押します。

#### 文字を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを置き、FINALIZE/INSキー(リモコンの場合はFINALIZEキー)を押します。

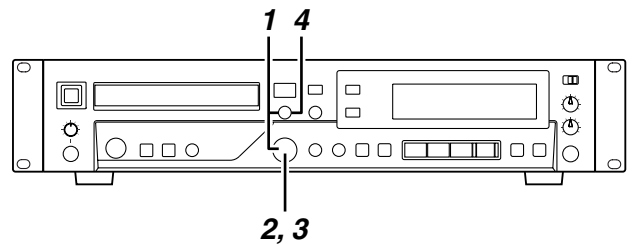
#### 文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、“Sure? Text!”と表示されます。TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、“Sure? Text!”表示中に、再度OPEN/CLOSE(▲)キーを押してください。(入力したテキストは失われます。)

### トラックに名前を付ける

CD-R/CD-RW ディスクに録音されたトラックに固有の名前を付けます。



- 1 停止状態で、「メニュー操作の基本」(→ P13)を参考に、サブメニュー“TEXT EDIT?”を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押し込みます。  
ディスプレイに“Text> XXX”(Disc、または01～99のトラック番号が選べます)と表示されます。
- 2 MULTI JOGダイヤルを押し込み(リモコンの場合はENTERキーを押して)、MULTI JOGダイヤルを回して(リモコンの場合はMENU(+/-)キーを押して)、01～99のトラック番号を選びます。
- 3 MULTI JOGダイヤルを押し込みます(リモコンの場合はENTERキーを押します)。  
キャラクター表示部に現在のトラック名が表示され、名前編集モードになります(カーソルが点滅します)。

### メモ

現在名前がない場合は、何も表示されません(カーソル点滅のみ)。

- 4 ディスク名と同様の操作で名前を付け、本体のMENUキー(またはリモコンのMENUキー)を押して確定します。  
テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、“Sure? Text!”と表示されます。TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、“Sure? Text!”表示中に、再度OPEN/CLOSE(▲)キーを押してください。(入力したテキストは失われます。)

## 第8章 コンピュータキーボードを使った操作

IBM PC 互換機用、PS/2 インタフェースのキーボードを本機フロントパネルに接続することにより、キーボードを使って本機を操作することができます。各種コントロールが可能ですが、特に名前を入力を効率的に行なうことができます。

### キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。

1 メニュー項目 SYSTEM内のサブメニュー“KEYBOARD?”を使って、タイプを選択します。

日本語対応キーボードの場合、“JP”を選択します。

英語対応キーボードの場合、“US”を選択します。

### キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、ディスク名、トラック名を入力することができます。

**タイトル編集メニューに入るには**

SHIFT + F8 キーで、ディスク/トラックタイトル編集メニューに入ります (“Text> ##” を表示)。

**入力する文字種を選択するには**

CAPS キー：「英大文字」を選択/解除します。

解除のとき：「英小文字」になります。

**入力するには**

数字キー、文字キーで直接入力

**カーソルを移動するには**

←/→キーを使います。

**文字を削除するには**

Delete キー：カーソル位置の文字を削除します。

Back Space キー：カーソル手前の文字を削除します。

**文字を挿入するには**

希望の位置で Insert キーを押します。

**文字を修正するには**

カーソルを合わせて上書きします。

### キーボード操作一覧

名前を入力だけでなく、トランスポートコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

| キーボードのキー | 動作                      |
|----------|-------------------------|
| F1 キー    | ◀◀ キーと同じ                |
| F2 キー    | ▶▶ キーと同じ                |
| F3 キー    | キーコントロールの ON/OFF を行います。 |
| F4 キー    | STOP キーと同じ              |
| F5 キー    | PLAY キーと同じ              |
| F6 キー    | READY キーと同じ             |
| F7 キー    | AUTO CUE キーと同じ          |
| F8 キー    | RECORD キーと同じ            |
| F9 キー    | AUTO READY キーと同じ        |
| F10 キー   | REPEAT キーと同じ            |
| F11 キー   | P.MODE キーと同じ            |
| F12 キー   | PITCH キーと同じ             |

|                |                |
|----------------|----------------|
| SHIFT + F1 キー  | “ERASE TRK” へ  |
| SHIFT + F2 キー  | “ERASE DISC” へ |
| SHIFT + F3 キー  | “REFRESH” へ    |
| SHIFT + F4 キー  |                |
| SHIFT + F5 キー  |                |
| SHIFT + F6 キー  |                |
| SHIFT + F7 キー  |                |
| SHIFT + F8 キー  | “TEXT EDIT” へ  |
| SHIFT + F9 キー  |                |
| SHIFT + F10 キー |                |
| SHIFT + F11 キー | “UNFINALIZE” へ |
| SHIFT + F12 キー | “FINALIZE” へ   |

| キーボードのキー      | 動作                   |
|---------------|----------------------|
| CTRL + F1 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 1  |
| CTRL + F2 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 2  |
| CTRL + F3 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 3  |
| CTRL + F4 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 4  |
| CTRL + F5 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 5  |
| CTRL + F6 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 6  |
| CTRL + F7 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 7  |
| CTRL + F8 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 8  |
| CTRL + F9 キー  | ダイレクトトラックサーチ トラック 9  |
| CTRL + F10 キー | ダイレクトトラックサーチ トラック 10 |
| CTRL + F11 キー | ダイレクトトラックサーチ トラック 11 |
| CTRL + F12 キー | ダイレクトトラックサーチ トラック 12 |

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| CAPS キー       | 「英大文字」を選択/解除                |
| 数字キー/文字キー     | 数字文字の入力                     |
| ←/→キー         | カーソルを移動                     |
| Delete キー     | ERASE/DEL キーと同じ             |
| Back Space キー | カーソル手前の文字を削除                |
| Insert キー     | FINALIZE/INS キーと同じ          |
| ESC キー        | 編集/タイトル編集をキャンセルしてメニューモードを終了 |
| Enter キー      | ENTER キーと同じ                 |

## 第9章 通信設定

本機の CONTROL I/O (RS-232C) 端子をコンピュータの RS-232C 端子と接続することにより、コンピュータと本機の間でデータの転送を行なうことができます。

通信に関する設定は、次の手順で行います。

- 1 「メニュー操作の基本」(→ P13) を参考に、メニュー項目 “SYSTEM?” を選択します。
- 2 MULTI JOG ダイアル (またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、設定したい項目を選択します。

### BAUD RATE

ボーレート (通信速度) の設定を行ないます。

4800、9600、19200、38400 (bps) の中から選択します (初期設定 : 19200)。

### LENGTH

通信データ長の設定を行ないます。

7 または 8 (bit) に設定します (初期設定 : 8)。

### PARITY

通信パリティビットの設定を行ないます。

NON、EVEN、ODD の中から選択します (初期設定 : NON)。

### STOP BIT

通信ストップビットの設定を行ないます。

1 または 2 (bit) に設定します (初期設定 : 1)。

- 3 MULTI JOG ダイアル (またはリモコンの MENU (+/-) キーと ENTER キー) を使って、設定値を変更します。

# 第 10 章 メッセージ一覧

## エラーメッセージ

以下のエラーメッセージが表示されたときは、STOP キーを押してから原因を解消してください。それでも改善しない場合は、最寄りの当社サービス部にご相談ください。

- **Can't Rec!**  
録音できません。ディスクの内容を消去するか（CD-RW の場合）、録音可能なディスクに交換してください。
- **Disc Error!**  
ディスクに何らかの問題があります。ディスクを交換してください。
- **Disc Full!**  
録音用ディスクに録音可能な時間、またはトラックがないため、録音できません。
- **Text Full!**  
文字数が上限に達しました。
- **Sure? Text!**  
TEXT 編集後、ファイナライズせずにトレイをオープンしようとしています。問題なければ再度 OPEN/CLOSE キーを押してください。
- **Drive Error!**  
CD-RW ドライブに問題があります。
- **D-IN UNLOCK!**  
DIGITAL IN 端子にデジタル機器が接続されていません（または接続されたデジタル機器の電源がオフになっています）。デジタル機器の接続と電源をお確かめください。
- **Not Audio!**  
DIGITAL IN 端子からの入力信号がオーディオ信号ではありません。
- **Erase Error!**  
消去中にエラーが発生しました。
- **Not Fs44.1k!**  
デジタル入力のサンプリング周波数が 44.1kHz ではありません。SRC をオンにしてください。
- **PGM Empty!**  
プログラムされていません。
- **PGM Full!**  
既に 99 曲プログラムされています。
- **Can't Edit!**  
操作の制限により、編集が実行できません。
- **Can't Sel!**  
選択禁止状態のため、メニューなどの選択ができません。
- **Rec Error!**  
録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
- **NO DIR!**  
ファイルが存在するディレクトリがありません。
- **Decode Err!**  
MP3 ファイルの再生に失敗しました。
- **Format Err!**  
本機では読み取り不可能な形式です。

- **EXT CLK Err!**  
INPUT SELECT で選択されている録音ソースからのデジタルの入カクロックに同期できません。クロック供給源となる機器との接続をお確かめください。

## 動作時のメッセージ

- **Blank Disc**  
何も録音されていないディスクがセットされています。
- **Complete**  
ファイナライズまたは消去などが完了しました。
- **Now OPC**  
最適な状態で録音するため、使用ディスクの特性に合わせてキャリブレーションを行っています。
- **Disc Repair**  
記録中に電源がオフになった等、何らかの理由により PMA が記録できなかった CD-R メディアに対し、修復処理をしています。この処理は、記録された内容を全て確認するため非常に時間がかかりますので、途中で電源をオフにしないでください。
- **PMA Writing (PMA = Program Memory Area)**  
録音した内容をディスクに記録しています。
- **TOC Reading**  
TOC 情報を読み取り中です。
- **Incomplete!**  
ISRC コード、RID コードの読み込みが完了していない、または存在しません。
- **48k Fs Adj**  
48k Fs アジャスト機能がオンです。



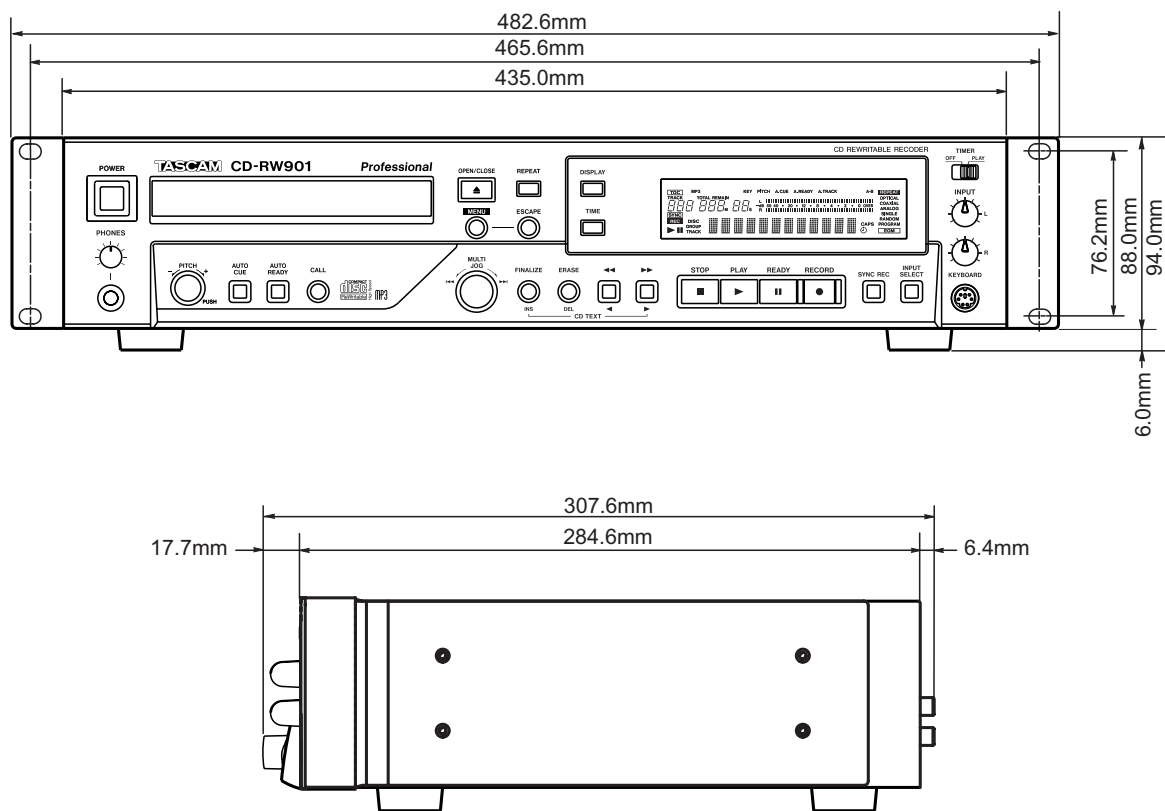
## 第 11 章 トラブルシューティング

- **電源が入らない**  
電源プラグがしっかりと差し込まれていますか？
- **“Disc Error!” が表示される**  
ディスクが汚れていませんか？。ディスクを掃除するか交換してください。
- **再生できない**  
結露していませんか？結露している場合はディスクを取り出して、電源をオンにしたまま数時間放置してください。
- **音が出ない**  
モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。
- **録音できない**
  - ・ 接続をもう一度確認してください。
  - ・ 録音レベルを調節してください。
  - ・ 再生専用の CD には録音できません。録音用 CD と交換してください。
- **設定を変えたのに記憶されていない**  
本機では、モード設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによってはバックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切ることはおやめください。
- **雑音がする**  
テレビなど強い磁気を帯びたものから十分離して設置してください。

## 第 12 章 仕様

|              |  |  |
|--------------|--|--|
| 記録ディスク       | CD-R、CD-R-DA、CD-RW、CD-RW-DA (CD-RW は High Speed に対応) |  |
| 量子化ビット数      | 16bit リニア  |  |
| サンプリング周波数    | 44.1kHz  |  |
| 再生周波数特性      | 20Hz ~ 20kHz<br>± 0.8dB (再生時)<br>± 1.0dB (記録時)       |  |
| S/N          | 95dB 以上 (再生時)<br>90dB 以上 (記録時)                       |  |
| ダイナミックレンジ    | 95dB 以上 (再生時)<br>90dB 以上 (記録時)                       |  |
| 歪率           | 0.006% 以下 (再生時)<br>0.008% 以下 (記録時)                   |  |
| チャンネルセパレーション | 90dB 以上 (再生時: 1kHz)<br>80dB 以上 (記録時: 1kHz)           |  |
| ワウフラッター      | 測定限界以下 (0.001% 以下)                                   |  |
| アナログ入力       | バランス入力   | XLR-3-31 相当  |
|              | 規定入力レベル  | + 4dBu (Full Scale - 16dB)                           |
|              | 最小入力レベル  | - 5dBu 以上 (規定レベル (Full Scale - 16dB) に調整可能な最小入力レベル)  |
|              | 入力インピーダンス  | 14kΩ ± 5% (平衡)                                       |
|              | アンバランス入力   | RCA ピン   |
|              | 規定入力レベル  | - 10dBV (Full Scale - 16dB)                          |
|              | 最小入力レベル  | - 19dBV 以上 (規定レベル (Full Scale - 16dB) に調整可能な最小入力レベル) |
|              | 入力インピーダンス  | 22kΩ ± 10% (不平衡)                                     |
| アナログ出力       | バランス出力   | XLR-3-32 相当  |
|              | 規定出力レベル  | + 4dBu (Full Scale - 16dB)                           |
|              | 最大出力レベル  | + 20dBu  |
|              | 出力インピーダンス  | 75Ω ± 5% (平衡)  |
|              | アンバランス出力   | RCA ピン   |
|              | 規定出力レベル  | - 10dBV ± 2dB (Full Scale - 16dB)                    |
|              | 最大出力レベル  | + 6dBV ± 2dB   |
|              | 出力インピーダンス  | 600Ω ± 10% (不平衡)                                     |
| ヘッドホン出力      | ステレオ標準 (6.3φ)<br>20mW 以上<br>32Ω 負荷                   |  |
| デジタル入力       | COAXIAL  | RCA ピン (IEC-60958 コンシューマユース)                         |
|              | OPTICAL  | TOSLINK (IEC-60958 コンシューマユース)                        |
|              | AES/EBU  | XLR-3-31 相当 (IEC-60958 プロユース)                        |
| デジタル出力       | COAXIAL  | RCA ピン (IEC-60958 コンシューマユース)                         |
|              | OPTICAL  | TOSLINK (IEC-60958 コンシューマユース)                        |
|              | AES/EBU  | XLR-3-32 相当 (IEC-60958 プロユース)                        |
| CONTROL I/O  | PARALLEL   | D-SUB 15pin  |
|              | RS-232C  | D-SUB 9pin   |
|              | REMOTE IN 端子   | RC-RW901 専用  |
| KEYBOARD     | Mini DIN 6pin  |  |
| 電源           | 100VAC、50/60Hz                                       |  |
| 消費電力         | 16W  |  |
| 外形寸法         | 482.6 × 94 × 308.7mm (幅×高さ×奥行き)                      |  |
| 重量           | 5.4kg  |  |

寸法図



## この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:30～12:00/13:00～17:00 です。

タスカム営業技術 〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3  
電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～17:00 です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。  
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、  
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、  
「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。  
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話  
番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3

<http://www.teac.co.jp/tascam/>